

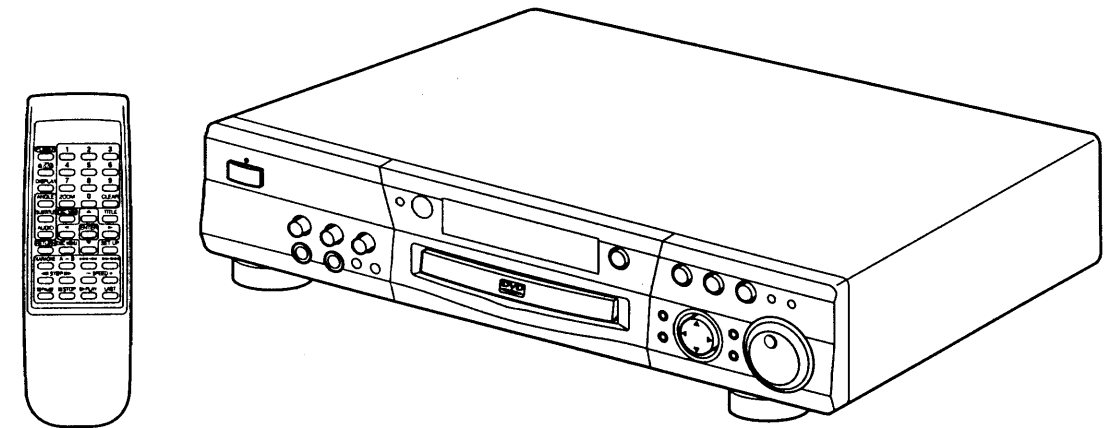
HITACHI

日立DVDプレーヤー

形名

DV-K2

取扱説明書



このたびは日立DVDプレーヤーをお求めいただき、まことにありがとうございました。

最初に 本機の機能を十分に発揮させて効果的にご利用いただくために、この取扱説明書を本機をご使用の前によくお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、「保証書」、「ご相談窓口一覧表」と一緒に保管してください。

●業務用には対応していません。

株式会社 日立製作所

〒105-0003 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111

はじめに

準備

基本操作

応用操作

設定

ご参考

もくじ

はじめに

安全上のご注意	3
使用上のご注意	7
本書の見かた	8
付属品をご確認ください	8
特長	9
ディスクについて	9

準備

ディスクの取り扱い	10
リモコンの取り扱い	11
各部の名称	12
他の機器と接続する	14

基本操作

再生する	16
終了する	17
チャプター/トラックを進める/戻す	18
静止画/コマ送りにする	19
速さを変えて再生する	20
つづきから見る(ラスト再生)	21
ディスクメニュー画面から再生する	22
タイトルメニュー画面から再生する	23
ディスクナビゲーション	24
タイトル/チャプター/トラックサーチ	25
タイムサーチ	26
CDのトラックサーチ/タイムサーチ	27

応用操作

繰り返して再生する(リピート再生)	28
順不同で再生する(ランダム再生)	29
お好みの順番で再生する(プログラム再生)	30
画面の一部を拡大する(ズーム)	32
見たい方向からの映像を選ぶ(アングル)	33
字幕言語を選ぶ	34
音声言語を選ぶ	35
カラオケを楽しむ	36
音声を切り換える	38
情報を見る	39

設定

ワイドテレビ用ソフトを設定する	40
字幕言語/音声言語を設定する	41
カラオケ音声を設定する	42
視聴制限を設定する(パレンタルロック)	43
さまざまな設定を変更する	44
出力フォーマットを変更する	46

ご参考

言語一覧表	47
用語	48
故障かな?と思ったら	49
保証とアフターサービス(必ずご覧ください)	50
仕様	51

安全上のご注意

ご使用前にまず「安全上のご注意」をお読みになってから、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

	警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
	注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

〈絵表示の例〉

- △記号は警告(注意)を促すことです。(この例は「感電注意」)
- ⊘記号は行為を禁止することです。(この例は「分解禁止」)
- 記号は行為を強制することです。(この例は「電源プラグをコンセントから抜け」)

	警告	
不安定な場所に置かない	●ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。	
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない	●表示された交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。	
水にぬらさない	●水場では本機を使用しないでください。 ●屋外や窓辺で使用するときには、本機をぬらさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。 ●万一内部に水などが入った場合は、使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。	
風呂場では使用しない	●風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。	
水の入った容器をのせたり、小さな金属物を置かない	●本機の上に、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。誤って本機の内部に入ると、火災・感電の原因となります。	

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 警告	
電源コードを傷つけない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。 ●電源コードを敷物などでおおわないでください。コードに気づかず、重い物をのせて電源コードを傷つけることがあるのでご注意ください。火災・感電の原因となります。  
電源コードを加工しない	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードを加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。 
電源コードが傷んだら交換する	<ul style="list-style-type: none"> ●電源コードの芯線が露出したり、断線したときは、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。 
内部に異物を入れない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。 ●万一異物が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。    <p>電源プラグをコンセントから抜け</p>
改造しない カバーを開けない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機を改造すると火災・感電の原因となります。 ●本機の裏ふた、カバーは外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。  <p>分解禁止</p>
異常なときは使わない	<ul style="list-style-type: none"> ●万一煙が出ている、へんな臭いがするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。   <p>電源プラグをコンセントから抜け</p>
落としたり、キャビネットを破損しない	<ul style="list-style-type: none"> ●万一本機を落としたり、キャビネットを破損した場合は、正常に動作しているように見えても、内部に異常がある場合があります。電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。   <p>電源プラグをコンセントから抜け</p>

⚠ 警告	
雷が鳴るときは電源プラグには触れない	<ul style="list-style-type: none"> ●雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。  <p>接触禁止</p>
防じんキャップに注意する	<ul style="list-style-type: none"> ●光デジタル音声出力端子に取り付けてある防じんキャップを取り外した場合は、お子様が防じんキャップを誤って飲むことがないようにしてください。 ●防じんキャップは幼児の手の届かないところへ保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。 
⚠ 注意	
油煙や湯気が当たる場所に置かない	<ul style="list-style-type: none"> ●火災・感電の原因となることがあります。 
湿気やほこりの多い場所に置かない	<ul style="list-style-type: none"> ●調理台や加湿器のそばに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。 
移動させるときは注意を!	<ul style="list-style-type: none"> ●移動させるときは、必ずディスクを取り出し、OPEN/CLOSE ▲ ボタンを押して、ディスクテーブルを閉じてから電源プラグをコンセントから抜き、テレビなどとの接続線ははずしたことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。  <p>電源プラグをコンセントから抜け</p>
直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かない	<ul style="list-style-type: none"> ●キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。 
通風孔をふさがない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、内部に熱がこもった状態で本機に触れると、火傷の原因となることがあります。本箱や押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込んだり、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりしないでください。 
本機の上に乗らない	<ul style="list-style-type: none"> ●倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。 

安全上のご注意 (つづき)

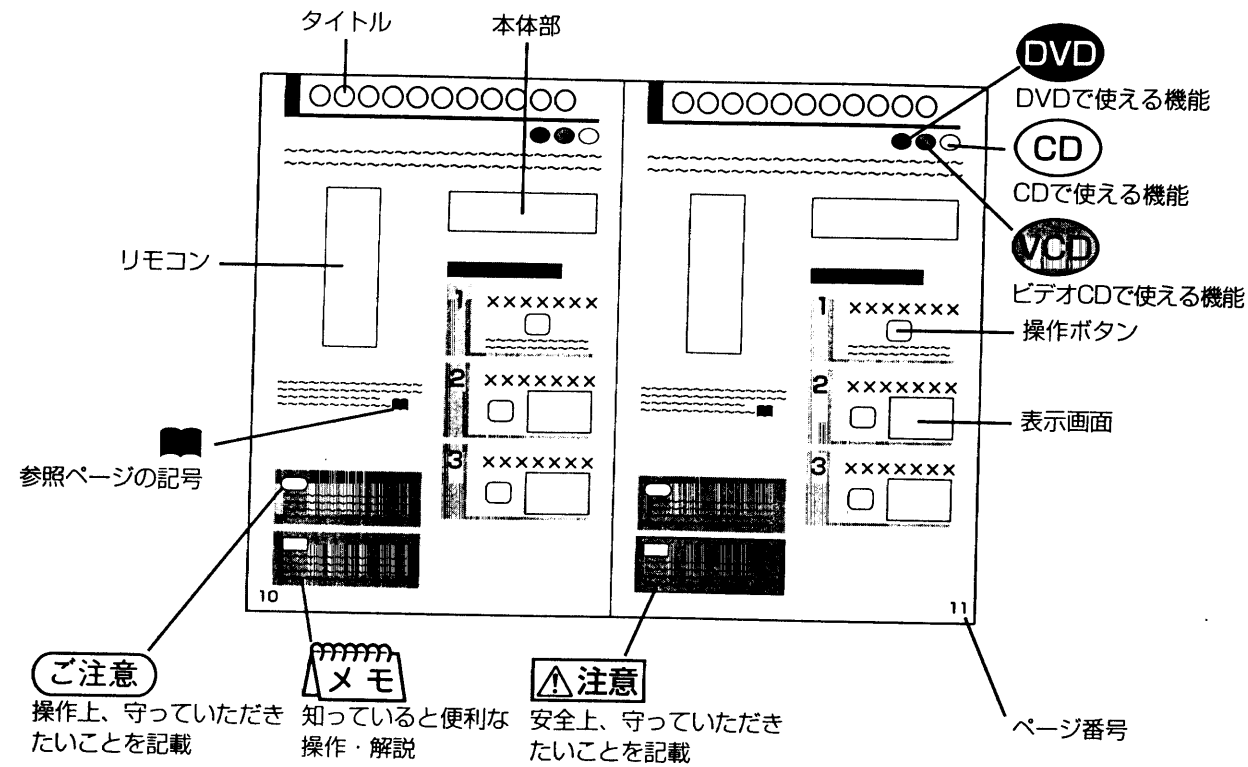
⚠ 注意		
本機の上に重い物を置かない	●本機の上に重い物やテレビなどを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。	
電源コードを熱器具に近づけない	●コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	
電源プラグを持ってコンセントから抜く	●電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない	●感電する原因となることがあります。	 <small>ぬれ手禁止</small>
電源プラグのゴミやホコリにご注意!	●電源プラグにゴミやホコリが付着したまま使用すると発熱・火災の原因となります。電源プラグの刃やその周辺は、いつもきれいにしておいてください。	
お手入れするときは	●安全のため電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。	 <small>電源プラグをコンセントから抜け</small>
機器で指定されていない乾電池は使わない	●指定されていない乾電池を使ったり、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。	
乾電池は機器の指示どおり正しく入れる	●極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意してください。まちがえすと乾電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	
長時間ご使用にならないときは	●安全のため電源プラグをコンセントから抜いておいてください。	 <small>電源プラグをコンセントから抜け</small>
内部の掃除について	●5年に1度くらいは、内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりがたまったまま、長いあいだ掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店にご相談ください。	

使用上のご注意

お手入れについて	<ul style="list-style-type: none"> ●化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。 ●キャビネットや操作パネル部分の汚れは、軟らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。 ●キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。 ●キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。
本機の機能動作について	●誤動作および故障などにより本機が正しく動作しないことがあります。これによる付随的損害(機会損失による補償など)は、当社は一切の責を負いませんので、あらかじめご容赦ください。
ガラスドア付きラックに入れたとき	●ガラスドアを閉めたままリモコンのOPEN/CLOSE ▲ ボタンを押して、ディスクテーブルを開けないでください。強い力でディスクテーブルの動きが妨げられると、故障の原因になります。
再生中は本機を絶対に動かさない	●再生中はディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
熱を受けないようにする	●アンプなど、熱を発生する機器の上へのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚(ホコリをかぶらない程度)に入れてください。
結露について	<ul style="list-style-type: none"> ●冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部(動作部やレンズ)に水滴が付きます(結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて1~2時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消え、再生できるようになります。 ●夏でもクーラーやエアコンの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。
その他の注意	<ul style="list-style-type: none"> ●本機の近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に"ブー"というハム音が出ることがあります。本機から離してご使用ください。 ●ステレオシステムと一緒に使う場合、スピーカーとモニターテレビは少し離してください。 ●テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。 ●テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。 ●静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは電源コードを1度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。

本書の見かた

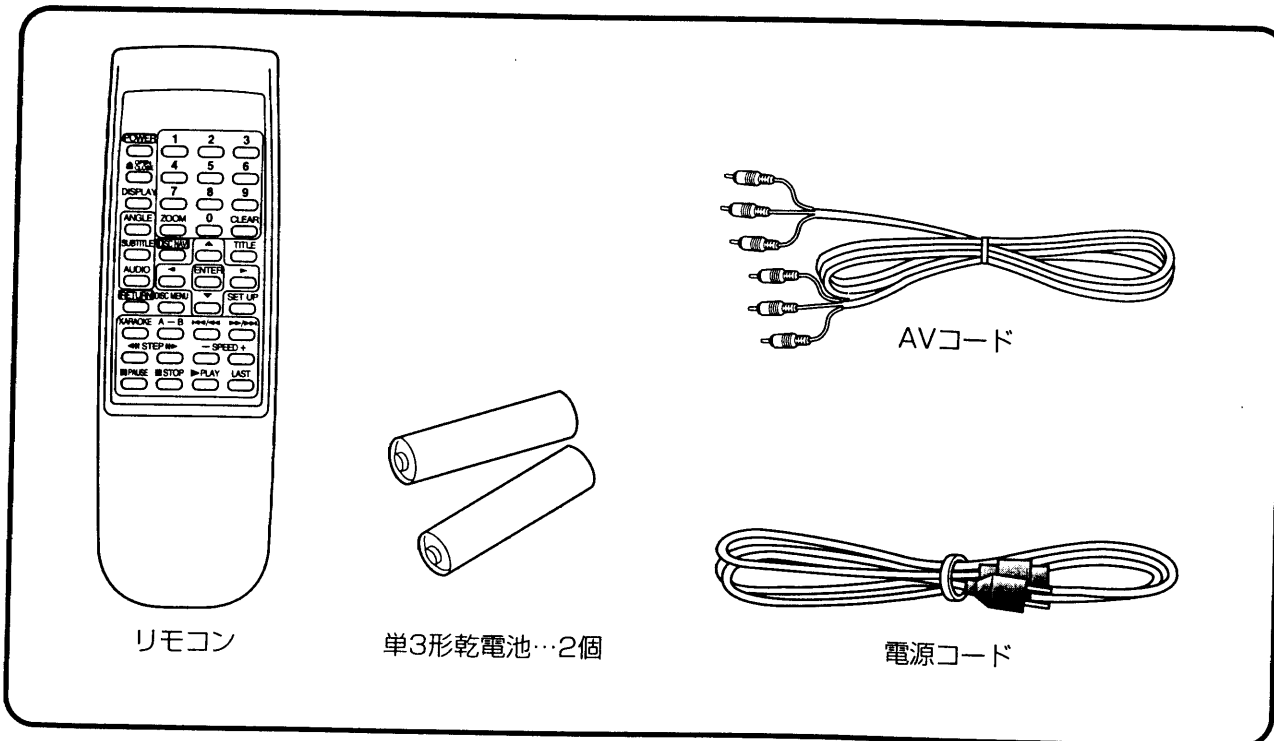
この取扱説明書はほとんどが次のようになっています。よくお読みいただき、正しくお使いください。(ページによって配置などが異なる場合もありますが、基本的には同じ説明方法です。)



ご注意 操作上、守っていただきたいことを記載
メモ 知っているとも便利な操作・解説
注意 安全上、守っていただきたいことを記載

付属品をご確認ください

付属品をご確認ください。万一不足しているものがあれば、販売店にご連絡ください。



特長

簡単に見たい場面をサーチできるディスクナビゲーションシステム
 2倍速ドライブによるスピーディーな操作性
 2マイク入力カラオケ付

ご注意 DVD、ビデオCD再生時の操作上のご注意

本機はDVD、ビデオCDの規格に従ったディスクを再生することができますが、ディスクによって字幕が1種類しか入っていないものもあり、字幕切り換えができないなど本書の記載通りに動作しないものもあります。本書とディスクの説明書をあわせてご覧ください。



DVDは12cmのディスクに標準で133分もの映像と高音質な音声を記録できる新しいメディアです。DVDでは従来のディスクでできることに加え、多様な楽しみ方ができるように規格されています。例えば、見たいアングルに変えて楽しむとか、字幕の言語を変えたり、音声の言語を変えたりすることもできます。

この製品には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、マクロビジョンコーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。また、リバースエンジニアリングや分解は禁止されています。

ディスクについて

本機はNTSC(日本のテレビ方式)に適合しています。下記以外のディスクは使用できません。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	再生時間
DVD 	DVD	デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 2 方式)
	12cm/片面	1層 約133分 4.7GB 2層 約242分 8.5GB
	12cm/両面	1層 約266分 9.4GB 2層 約484分 17GB
	DVD	デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 2 方式)
ビデオCD 	VIDEO CD 12cm/片面	デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 1 方式) 最大74分
	VIDEO CD シングル 8cm/片面	デジタル音声 デジタル映像 (MPEG 1 方式) 最大20分
	CD 12cm/片面	デジタル音声 最大74分
	CD CDシングル 8cm/片面	デジタル音声 最大20分

- 左表に表示されたマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。
- 本機は左記の3種類のディスクをアダプター無しで、再生することができます。
- 故障などを防ぐため、8cmアダプター(CD用)は使用しないでください。
- ハート型や八角形など特殊形状のディスクは使用しないでください。機器の故障の原因になります。
- DVDの再生時間は、平均記録レートが4.7Mbpsの場合です。

ビデオCDについて

本機は、PBC付きビデオCD(バージョン2.0)に対応しています。(PBCとは、Playback Controlの略です)ディスクによって、2種類の再生を楽しめます。

ディスクの種類	楽しみかた
PBCなしビデオCD(バージョン1.1)	音声用CDと同じように操作して、音声と映像(動画)を再生できます。
PBC付きビデオCD(バージョン2.0)	PBCなしのビデオCDの楽しみかたに加えて、テレビ画面に表示されるメニューを使って、対話型のソフトや検索機能のあるソフトを再生できます(メニュー再生)。この取扱説明書で、説明されている機能が働かない場合があります。

ご注意

- リージョンコードが日本地域番号である「2」を含まないDVDは再生できません。

はじめに

本書の見かた

付属品をご確認ください

特長

ディスクについて

ディスクの取り扱い

■次のマークのうち、いずれかのマークが付いたディスクをお使いください。



■保管

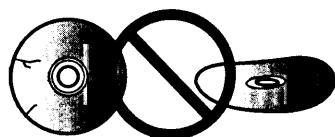
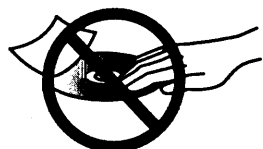
- ディスクはプラスチック製です。そらさないように注意してください。必ずケースに入れ、直射日光や高温多湿の場所、太陽のあたる屋外、車のシートの上なども予想以上に高温となりますので置かないでください。
- ディスクに付いている注意事項は必ずお読みください。

■ディスクのお手入れ

- ディスクに指紋やホコリが付いた場合、汚れにより音質や画質が低下することがあります。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー、帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどい場合には、柔らかい布を水に浸し、よく絞ってから汚れを拭きとり、そのあと乾いた布で水気を拭きとってください。
- 損傷のあるディスク（ひびやそりのあるディスク）は使用しないでください。
- レーベル面に紙やシールなどを貼り付けたり、キズなどをつけないようにしてください。ディスクにセロハンテープやレンタルのラベルなどのノリがはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。



柔らかい布で内周から外周方向へ軽く拭く

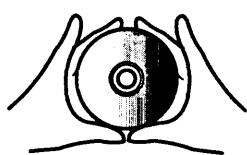


■レンズクリーナーについて

ご使用中にホコリなどにより不具合が発生したときは、保証とアフターサービス 51 をお読みの上、清掃をご依頼ください。なお、市販されているCDレンズクリーニングディスクには、レンズを破損する恐れのあるもの、あるいはディスクが取り出せなくなるものがありますのでご注意ください。

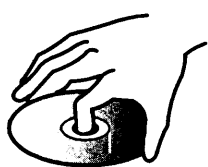
■ディスクの持ちかた

両手で持つ場合
ディスクの両端をはさんで持つ。



片手で持つ場合

中央の穴と外周部に指をかけて持つ。

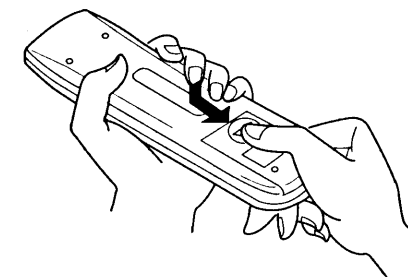


リモコンの取り扱い

乾電池の入れかた

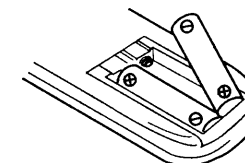
1 電池ぶたをはずす

電池ぶたを押しながら、矢印の方向にずらします。



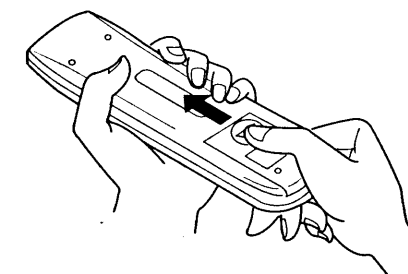
2 乾電池を入れる

付属の単3形乾電池を⊕、⊖の表示どおりに入れます。

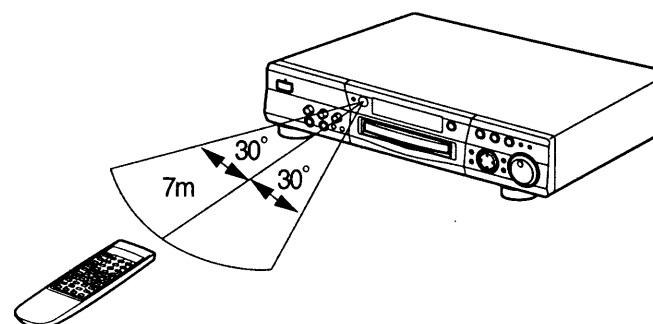


3 電池ぶたを閉める

電池ぶたを矢印の方向に押し戻します。



リモコンの取り扱い



- リモコンは、本体のリモコン受信窓の正面から約7メートル、左30度、右30度の範囲内でお使いください。

【ご注意】リモコンの使用上のご注意

- リモコンを落としたり、衝撃を与えないでください。
- リモコンに水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。故障の原因となります。
- 長時間ご使用にならない場合は、乾電池をリモコンから取り出しておいてください。
- リモコンの操作がしにくくなったら、乾電池を交換してください。
- リモコン受信窓に直射日光などの強い光が当たると、動作しにくくなる場合があります。光が直接当たらないようにご注意ください。

【注意】乾電池の使用上のご注意

- 本機で指定されていない乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 乾電池を機器内に挿入する場合は、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。まちがえますと乾電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

準

備

■ディスクの取り扱い

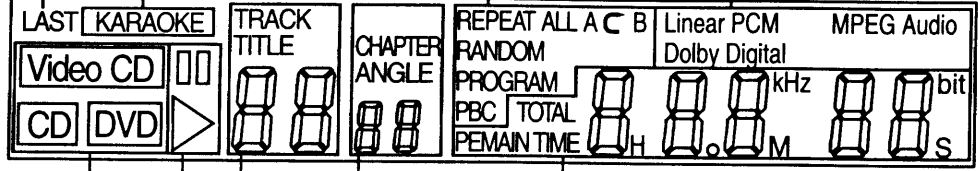
■リモコンの取り扱い

各部の名称

前面

<表示窓>

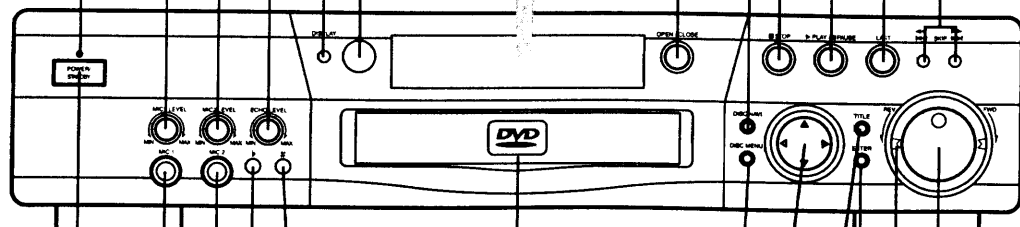
ラスト再生できるときに点灯します。 **21**
 カラオケ機能がONのとき点灯します。 **36**
 ディスクの再生状態を示します。 **22**、**28** ~ **30**
 再生中のDVDの音声モードを示します。 **45**



LAST KARAOKE TRACK TITLE CHAPTER ANGLE REPEAT ALL A C B Linear PCM MPEG Audio
 Video CD 〇〇 PROGRAM kHz bit
 CD DVD 〇〇 PBC TOTAL H M S
 PBC TOTAL PEMAINTIME H M S

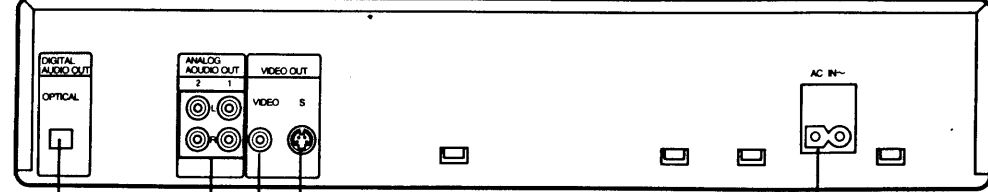
ディスクの再生時間、残り時間などを示します。 **27**、**39**
 再生中のチャプター番号などを示します。 **25**、**33**、**39**
 再生中のトラックまたはタイトル番号を示します。 **25**、**27**、**39**
 本機の状態を示します。 **16**、**17**
 挿入されているディスクを示します。 **16**

リモコン受信窓 **11**
 ディスプレイボタン **39**
 エコーボリューム ECHO VOLつまみ **36**
 マイク2ボリューム MIC2 VOLつまみ **36**
 マイク1ボリューム MIC1 VOLつまみ **36**
 スタンバイインジケータ **16**
 オープン/クローズ **16** OPEN/CLOSEボタン
 ディスクナビ **24** DISC NAVIボタン
 ストップ **17** STOPボタン
 プレイ/ポーズ **16** PLAY/PAUSEボタン
 ラスト **21** LASTボタン
 スキップ **18** SKIPボタン



シャフ **36** #ボタン **16** トレイ **20** JOGダイヤル
 フォト **36** bボタン ディスクメニュー **22** DISC MENUボタン **20** SHUTTLEリング
 マイク2 **36** MIC2入力端子 方向ボタン **22** **22** ENTERボタン
 マイク1 **36** MIC1入力端子 **23** TITLEボタン
16 POWER/STANDBYボタン

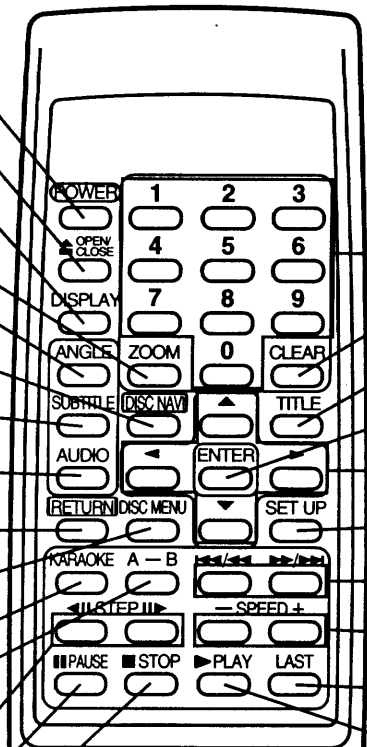
後面



14 S映像出力端子
14 映像出力端子
14 音声出力端子
15 光デジタル音声出力端子
14 電源コード接続端子

リモコン

POWERボタン **16**
 オープン/クローズ **16** OPEN/CLOSEボタン
 ディスプレイ **39** DISPLAYボタン
 ズーム **32** ZOOMボタン
 アングル **33** ANGLEボタン
 ディスクナビ **24** DISC NAVIボタン
 サブタイトル **34** SUBTITLEボタン
 オーディオ **35** AUDIOボタン
 リターン **22** RETURNボタン
 ディスクメニュー **22** DISC MENUボタン
 カラオケ **36** KARAOKEボタン
 A-B **28** A-Bボタン
 ステップ **19** STEPボタン
 ポーズ **19** PAUSEボタン
 ストップ **17** STOPボタン



22 数字ボタン
28 CLEARボタン
23 TITLEボタン
22 ENTERボタン
22 方向ボタン
28 SET UPボタン
18 スキップ
20 SPEEDボタン
21 LASTボタン
16 PLAYボタン

準備

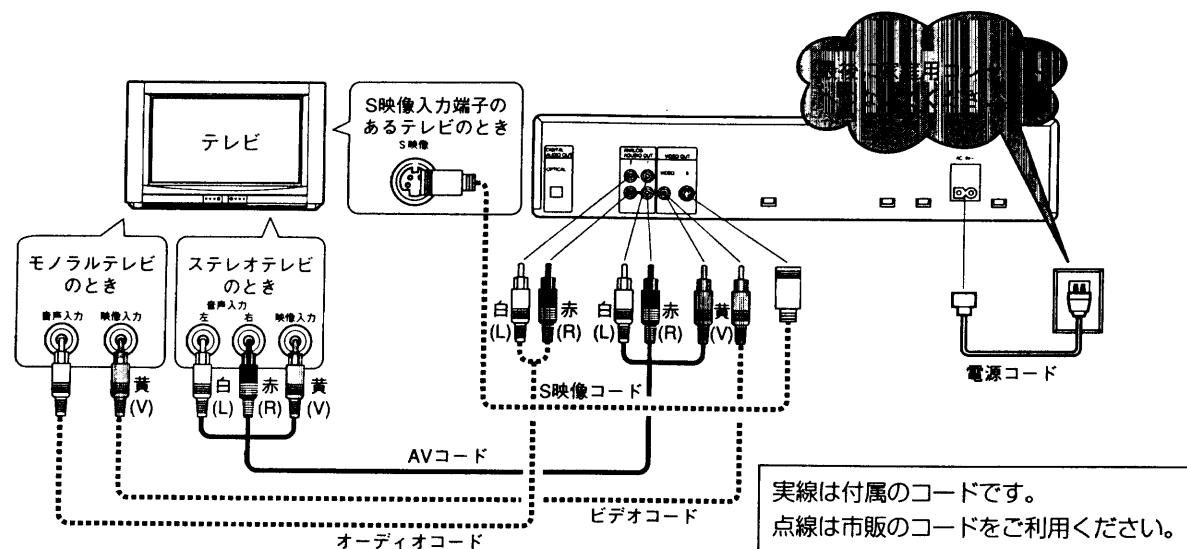
各部の名称

他の機器と接続する

ご注意

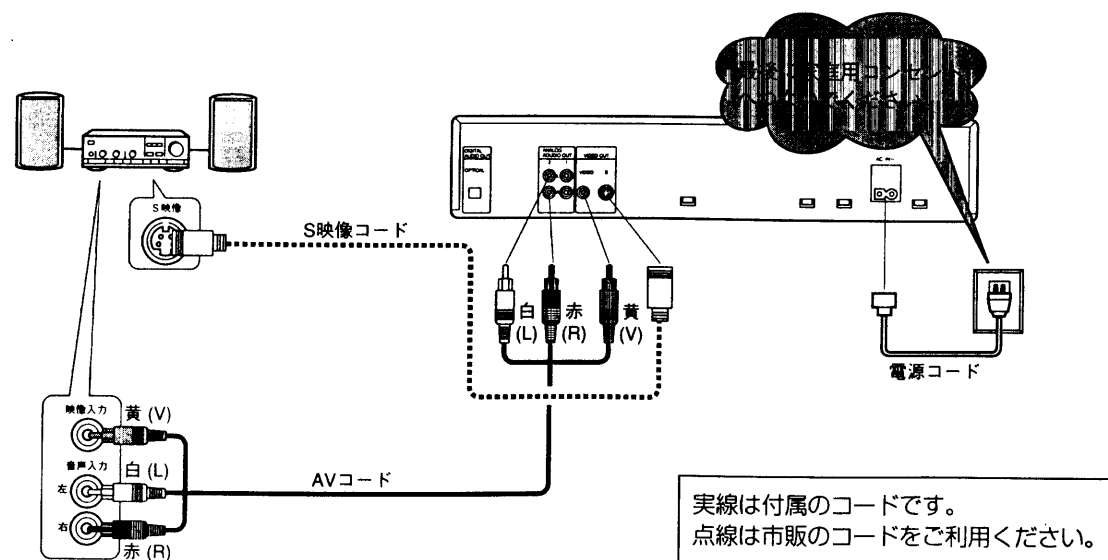
- 他の機器と組み合わせてご使用になるときには、それぞれの取扱説明書をよくお読みになしてください。
- 接続するときは、各機器の電源を切ってから行ってください。

テレビと接続する



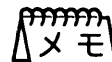
- モノラルテレビと接続する場合は、別売りのオーディオ/ビデオコード (HPU-141AV) などを使って行ないます。
- 本機のS映像出力は、ワイドテレビのワイドモードを自動的に切り換えるS2規格に対応しています。
- ワイドテレビに接続する場合は、セットアップ画面でTVの種類を16:9に設定してください。44

ステレオと接続する



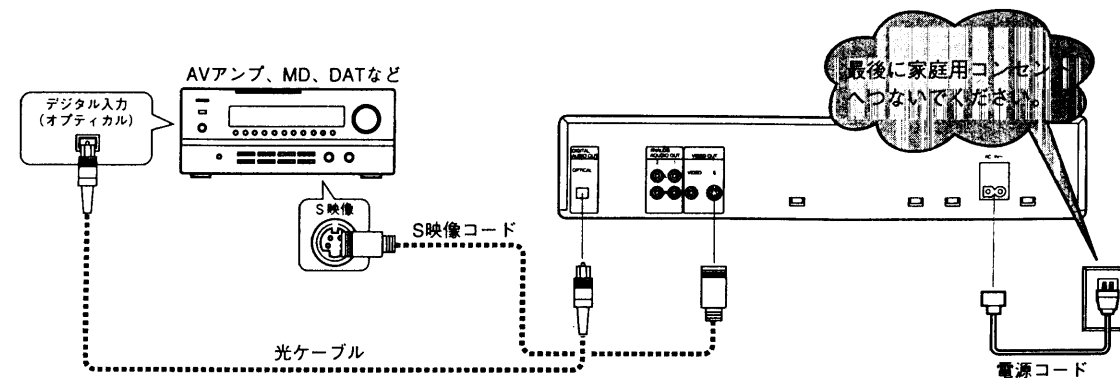
■ドルビープロロジック・デコーダー (内蔵アンプ) と接続する

ステレオがドルビープロロジック対応の場合も同じように接続します。ドルビープロロジック・サラウンドを楽しむには、ステレオの取扱説明書に従ってドルビープロロジック・サラウンドが聞けるように設定してください。



96kHz 24bitなどの高品位オーディオが記録されているDVDを再生する場合は、デジタル光出力の設定をオフにすることをおすすめします。45

光デジタル端子付き機器と接続する

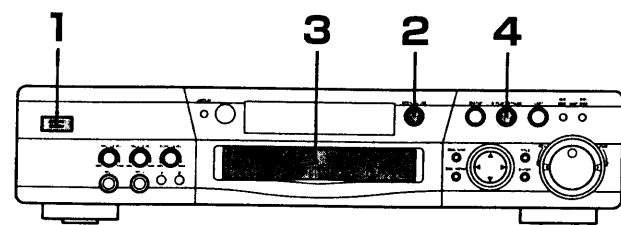
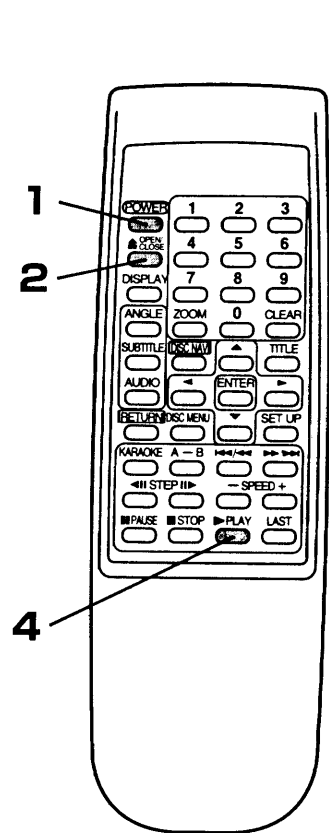


ドルビーデジタル入力端子のあるアンプと接続することによって、ドルビーデジタルサラウンドでお楽しみいただけます。

ご注意

- ドルビーデジタル対応のDVDをデジタル接続でMDやDATに録音するときは、光デジタル音声出力の設定をLPCMにしてください。DVDがドルビーデジタル (AC-3) で記録されている場合は、AC-3/LPCMのままでは、ノイズを録音してしまいます。45
- ドルビーデジタル非対応のアンプのデジタル入力端子に光ケーブルを接続した場合は、光デジタル音声出力の設定をAC-3/LPCMにしないでください。突然大音量が出てスピーカーを破損することがあります。45
- CDやDVDをデジタル接続でMDやDATに録音する場合、曲番が正しく記録されないことがあります。録音後にMDやDATで曲番を編集してください。
- DVDによってはデジタル接続での録音ができないものがあります。
- MDにサンプリングレートコンバーターがないとDVDからのデジタル録音はできません。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
「Dolby」、「AC-3」、「Pro Logic」およびダブルD記号はドルビーラボラトリーの商標です。
非公開機密著作物。著作権1992-1997年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。



電源プラグをコンセントに差し込むとSTANDBYインジケータが赤く点灯します。

1 POWERボタンを押す

POWER



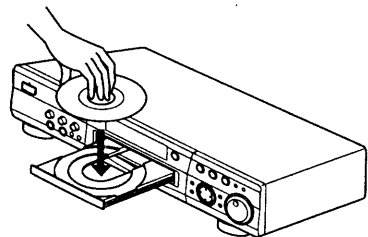
- 本体ではPOWER/STANDBYボタンを押します。
- STANDBYインジケータが赤 (STANDBY) から緑 (ON)に変わります。

2 OPEN/CLOSE▲ボタンを押す



- トレイが出てきます。

3 ディスクを置く



- レーベル面を上にしてディスクのガイドに合わせて置きます。

4 PLAY▶ボタンを押す

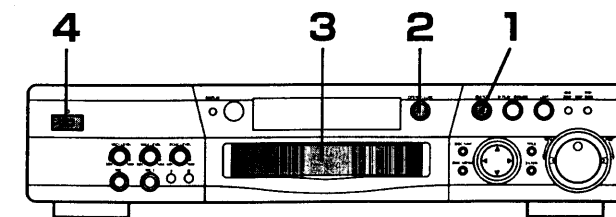
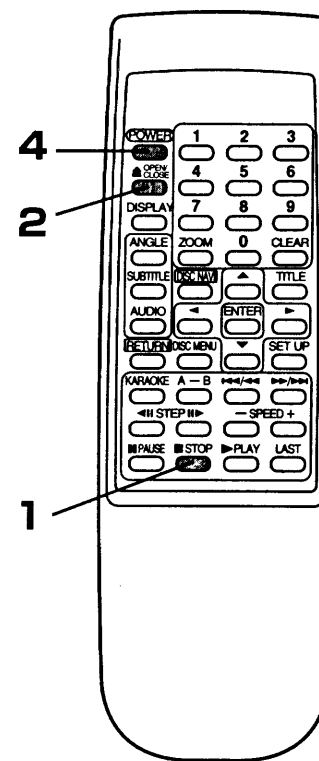
▶PLAY



- 本体ではPLAY/PAUSE▶/||ボタンを押します。
- ディスクの種類が確認されると表示窓に▶が表示され、再生が始まります。
- ディスクによっては、メニュー画面が表示されます。そのようなときは、22をご参照ください。



ディスクを入れると、ディスクの種類の確認とディスクごとに最適な制御をするための学習動作をします。この間(約15秒)、表示窓にVideo CD、CD、DVDが同時に点灯します。確認と学習が終わると、Video CD、CD、DVDの内のひとつが点灯します。



1 STOP■ボタンを押す

■STOP



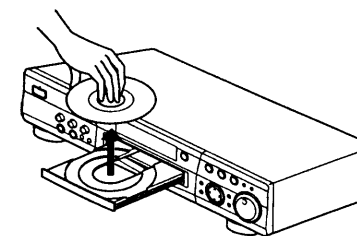
- 再生が終わり、停止状態になります。

2 OPEN/CLOSE▲ボタンを押す



- トレイが出てきます。

3 ディスクを取り出す



4 POWERボタンを押す

POWER



- 本体ではPOWER/STANDBYボタンを押します。
- トレイが閉まり、電源が切れてSTANDBYインジケータが緑 (ON) から赤 (STANDBY) に変わり、STANDBY状態になります。

■DVDのつづきから見るには

DVDでは途中まで見たあと、つづきから見るができます。詳しくは、21をご参照ください。

■再生を一時停止するには

PAUSE || ボタン、または本体のPLAY/PAUSE▶/|| ボタンを押します。このとき、表示窓に||が表示されます。もう一度PAUSE || ボタン、またはPLAY▶ ボタン、本体ではPLAY/PAUSE▶/|| ボタンを押すと、一時停止したところから再生が始まります。

- DVD、ビデオCDでは、静止画になります。

- 約20分間一時停止状態がつづく自動的に停止状態になります。

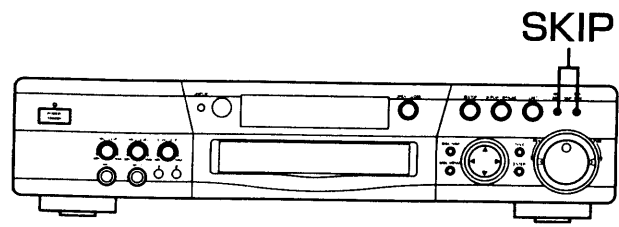
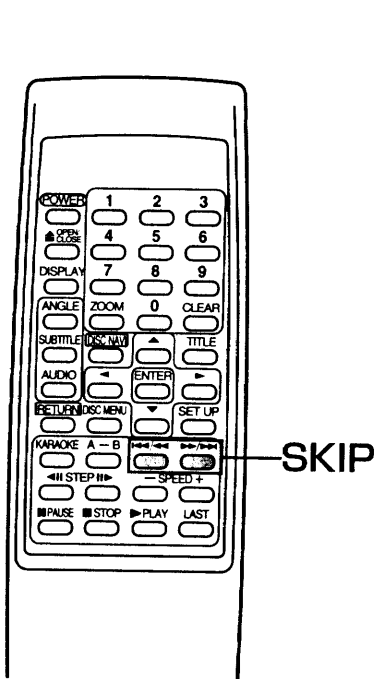


停止状態が約30分間つづく、自動的に電源が切れてSTANDBY状態になります。

チャプター／トラックを進める／戻す



ディスクを再生中に次のチャプター／トラックへ進ませたり、前のチャプター／トラックへ戻したりすることができます。



次のチャプター／トラックを進める

SKIP ►► / ►► ボタンを押す



- ボタンを押すごとに次のチャプター／トラックに進みます。
- ボタンを押しつづけると、早送りになります。

前のチャプター／トラックへ戻す

SKIP ◀◀ / ◀◀ ボタンを押す



- 1度押すと再生しているチャプター／トラックの初めに戻ります。さらに押すと前のチャプター／トラックに戻ります。
- ボタンを押しつづけると、早戻しになります。

早送りをする

SKIP ►► / ►► ボタンを押しつづける



- 目的のところまできたらボタンを離します。つづきを再生します。

早戻しをする

SKIP ◀◀ / ◀◀ ボタンを押しつづける

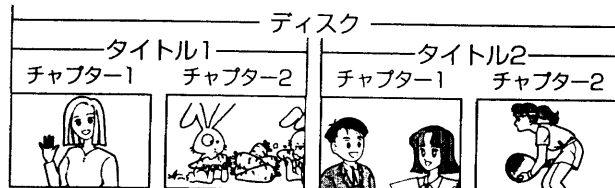


- 目的のところまできたらボタンを離します。つづきを再生します。

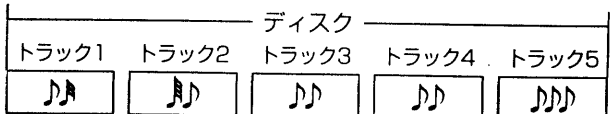
■タイトル、チャプター、トラックについて

DVDでは、ディスクの中をタイトルで分け、さらにタイトルの中をチャプターで分けています。ビデオCD、CDでは、ディスクの中をトラックで分けています。

DVDのとき



ビデオCD、CDのとき



●注意

- DVDの場合、これらの操作は、タイトル間をまたいで行うことはできません。

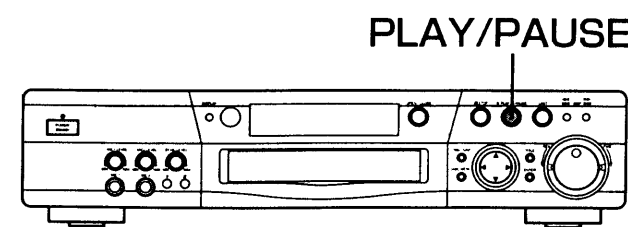
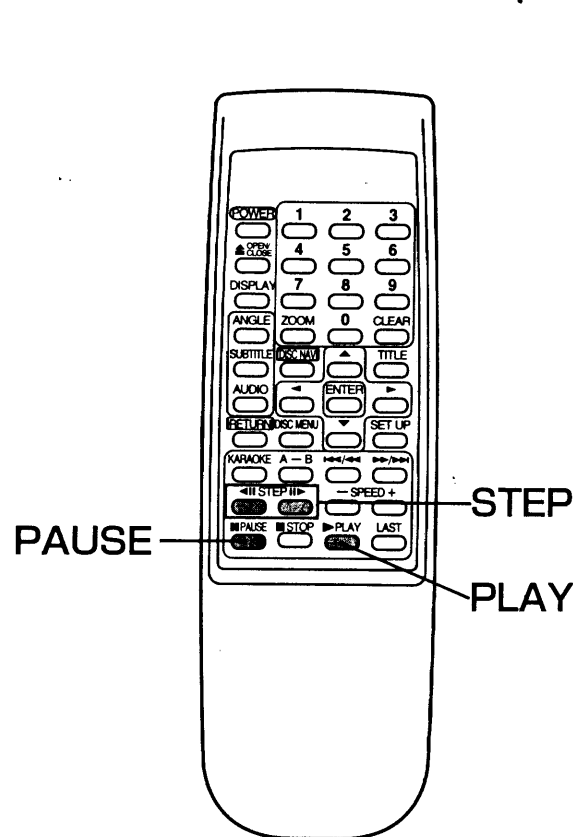
メモ

- ビデオCDの場合、PBC (プレイバックコントロール) がオフのときに、SKIPボタンでトラックを進めたり戻したりすることができます。PBCがオンときは、PBCに従った動作をします。
- 再生中にSKIPなどの操作をすると、画面にT: 2、C: 5などと表示されます。Tはタイトル、またはトラック、Cはチャプターのことで、数字は再生しているタイトル、トラック、チャプターの番号です。

静止画／コマ送りにする



ディスクを再生中に映像を止めて見たり (静止画)、1コマずつ見たり (コマ送り) することができます。



静止画再生 (映像を止めて見る)

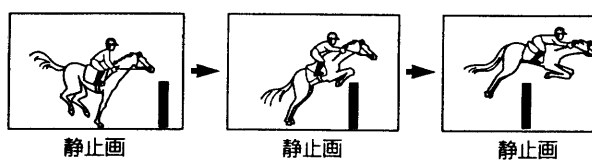
PAUSE ◻◻ ボタンを押す



- 表示窓に◻◻が表示され、静止画になります。
- 本体ではPLAY/PAUSE ►/◻◻ ボタンを押します。
- STEP ◀◻◻ ボタンでも静止画になります。

コマ送り再生 (映像を1コマずつ見る)

静止画の状態からSTEP ►◻◻ ボタンを押す



- STEP ►◻◻ ボタンを押すごとに1コマずつ進みます。(◀◻◻ ボタンを押すと約0.5秒前のコマに戻ります。)

- STEP ►◻◻ ボタンを押すごとに1コマずつ進みます。
- STEP ◀◻◻ ボタンを押すと約0.5秒前のコマに戻ります。

普通の再生に戻す

PLAY ► ボタンを押す



- 本体ではPLAY/PAUSE ►/◻◻ ボタンを押します。
- PAUSE ◻◻ ボタンでも操作できます。

●注意

- DVDの場合、チャプターから前のチャプターへコマ戻しはできません。
- コマ送り、戻しのコマの間隔は、ばらつくことがあります。

メモ

- 静止画再生中、コマ送り再生中の音声は聞こえません。
- ディスクによっては一時停止ができないディスクもあります。その場合は⊙マークが画面に表示されます。
- スクリーンセーバーをONに設定してあるときに5分間静止画再生をしていると、スクリーンセーバーの画面になります。いずれかの操作ボタンを押すと、静止画に戻ります。 44

基本操作

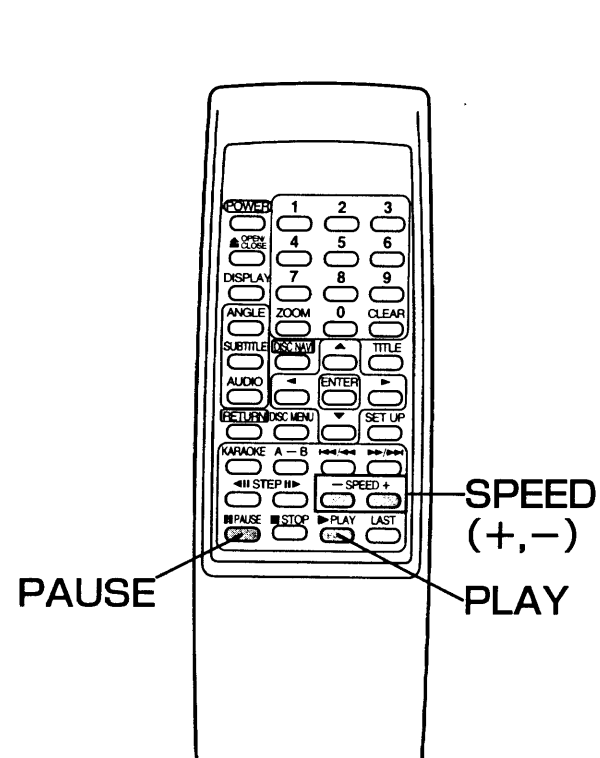
チャプター／トラックを進める／戻す

静止画／コマ送りにする

速さを変えて再生する

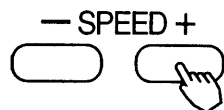


速さを変えて再生することが簡単にできます。

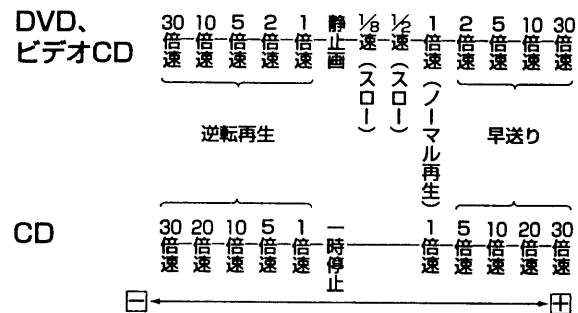


リモコンで操作する

静止画再生中、または再生中にSPEED (+,-) ボタンを押す



●ボタンを押すごとに再生速度が変わります。

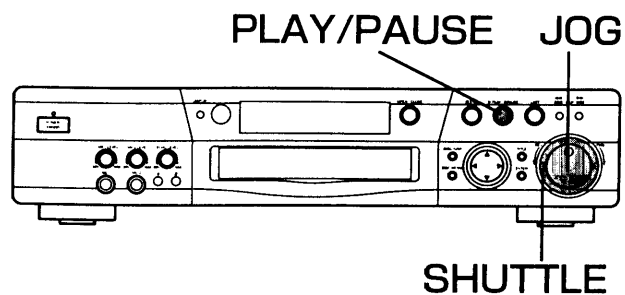


普通の再生に戻す

PLAY▶ボタンを押す



●本体ではPLAY/PAUSE▶/|| ボタンを押します。



JOGダイヤルで操作する

再生中にPAUSE||ボタンを押す



- 静止画になります。
- 本体ではPLAY/PAUSE▶/|| ボタンを押します。

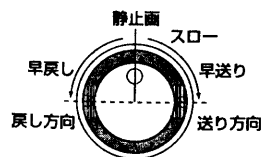
2 JOGダイヤルを回す



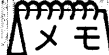
- ゆっくり回す …コマ送りをします。
- 少し早く回す …スロー再生をします。
- 早く回す …ノーマル再生をします。
- 逆転スロー再生はできません。
- コマ送りについては 19 をご参照ください。
- CDでは操作できません。

SHUTTLEリングで操作する

静止画再生中、または再生中SHUTTLEリングを回す



●30倍速まで早送り、早戻しをすることができます。



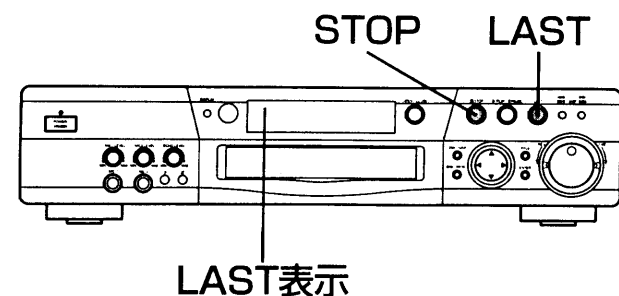
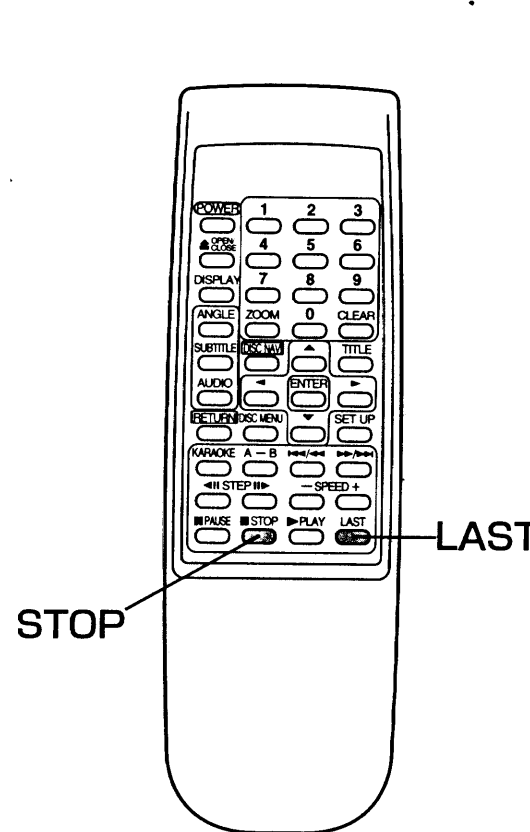
- DVDとビデオCDの逆転再生および5倍速以上の早送りはとびとびの映像になります。
- ノーマル再生以外の再生速度は目安です。

つづきから見る (ラスト再生)



前回のつづきから再生することができます。

再生を停止したところをディスクごとに最大50枚まで自動的に記憶します。(DVDのみ)



つづきから見る

停止したところを記憶しているディスクをセットすると、表示窓にLASTが表示されます。

LAST表示が点灯しているとき、停止中にLASTボタンを押す



- 前回再生を停止したところから再生が始まります。
- LAST表示が点滅しているときは、STOP■ボタンを押して停止させてからLASTボタンを押します。

記憶させる

STOP■ボタンを押して再生を停止する



- 停止した場所を自動的に記憶します。
- ディスクを取り出しても、電源を切っても、記憶は消えません。

自動続き再生機能について

ディスクを入れたまま電源を切ったとき自動続き再生がオンに設定してあると、POWERボタンを押し、電源を入れたとき、前回再生を停止したところから自動的に再生が始まります。 44

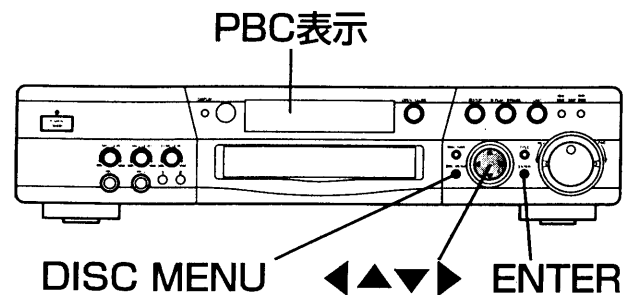
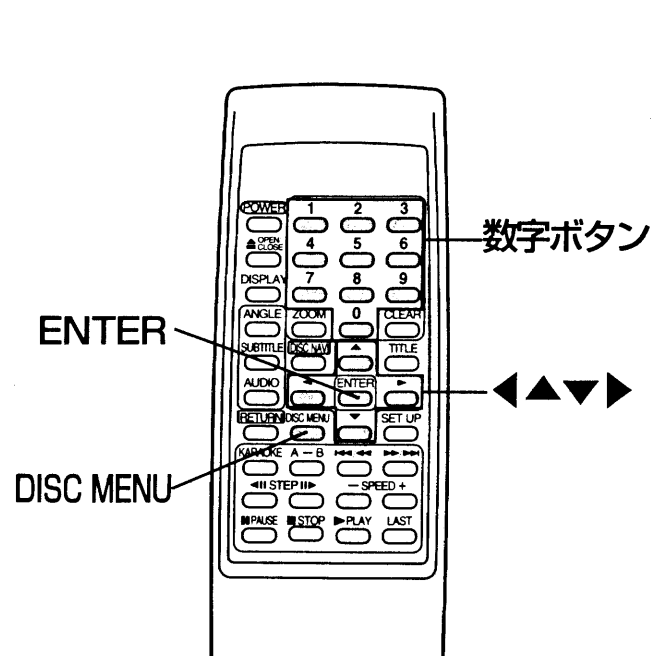


- 停止位置を記憶しているディスクをトレイにのせてLASTボタンを押すと、自動的にラスト再生をします。
- 停止位置を記憶したディスクでも、PLAY▶ボタン (本体ではPLAY/PAUSE▶/|| ボタン) で再生すると、ディスクの始めから再生します。
- 停止位置を記憶したディスクを再生すると、LAST表示が約1分間点滅します。点滅中は、STOP■ボタンを押して停止しても、新しい停止位置を記憶しません。前回の記憶を保ちます。初めて再生するディスクの場合、LAST表示は点滅しませんが、約1分再生してからでないで停止させても位置を記憶しません。
- ディスクの枚数が50枚を超えたときは、古い記憶 (一番最初にメモリーしたもの) から消去、上書きされます。(DVDのみ)
- ディスクによっては、ラスト再生が正しく動作しない場合があります。
- DVDの場合、ディスクに時間情報がないときは、停止したチャプター番号を記憶します。ラスト再生すると、停止したチャプターの始めから再生します。
- ビデオCD、CDでは、1枚だけ記憶することができます。ディスクを取り出しても、次に同じディスクを再生するとつづき再生することができます。電源を切っても使えます。

ディスクメニュー画面から再生する



DVD、ビデオCDでは、ディスクによってメニュー画面が記録されているものがあります。本機では、メニュー画面から再生したい項目、表示したい字幕言語、聞きたい音声言語などが選べます。



DVDのとき

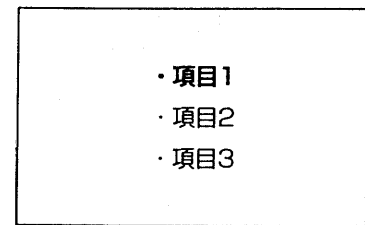
1 DISC MENUボタンを押す

DISC MENU



- PLAY▶ボタンを押すとメニュー画面が表示されるディスクもあります。
- メニュー画面が表示されます。
- メニュー画面はディスクによって異なります。

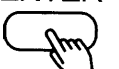
2 ◀▶▶▶ボタンで項目を選ぶ



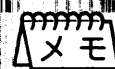
- DVDによっては、リモコンの数字ボタンで項目を選べるものもあります。

3 ENTERボタンを押す

ENTER



- 項目が決定します。
- 以下メニューに従って操作します。



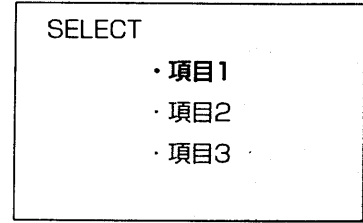
- DVDによっては、ディスクメニューがなく、タイトルメニューだけが記録されている場合があります。DISC MENUボタンでメニュー画面を呼び出せないときは、TITLEボタンを押してください。23
- DVDによっては、ディスクメニューもタイトルメニューもない場合があります。
- PBC対応ビデオCDでは表示窓にPBCが表示されます。
- ビデオCDでは、メニュー画面を表示して再生したとき、リピート再生の機能は働きません。
- PBC機能を使わないで再生するときはDISC MENUボタンを押します。表示窓のPBCは消えます。このとき、メニュー画面などは再生できません。PBCに戻すには、もう一度DISC MENUボタンを押します。

PBC対応ビデオCDのとき

1 PBC対応のビデオCDを再生する

- メニュー画面が表示されます。

2 数字ボタンで項目を選ぶ

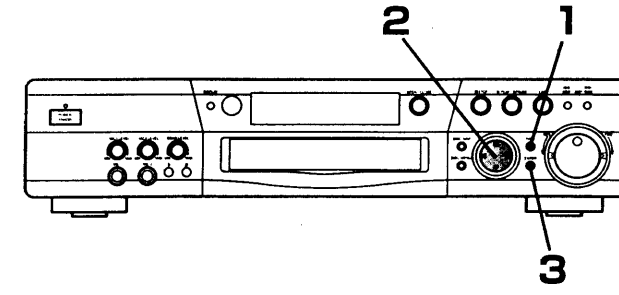
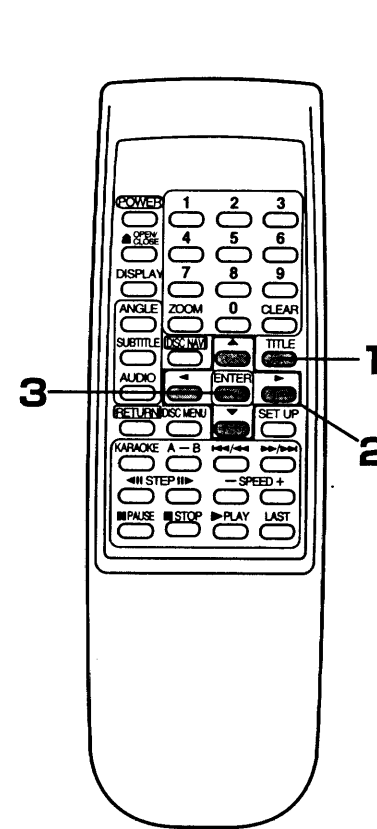


- 数字ボタンを押すと、画面にSELECTが表示され、項目が決定します。
- 数字ボタンを押してもSELECTが表示されないときENTERボタンを押してください。
- ビデオCDによっては、PLAY▶ボタン、SKIP▶▶/▶▶、◀◀/▶▶ボタン、RETURNボタンで操作できるものもあります。RETURNボタンの操作をマークで表示するビデオCDもあります。
- 再生中にメニュー画面に戻るにはRETURNボタンを押します。
- ビデオCDによっては、3桁の数字を入力することがあります。この場合は、数字を1桁入力するごとにENTERボタンを押してください。

タイトルメニュー画面から再生する



DVDには、複数のタイトルを記録し、タイトルメニューを備えたディスクがあります。この場合は、タイトルメニュー画面から再生すると便利です。



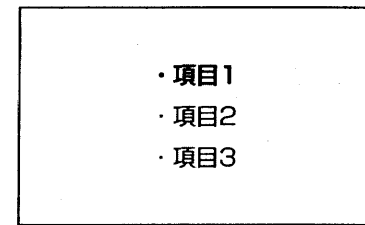
1 TITLEボタンを押す

TITLE



- タイトルメニュー画面が表示されます。
- タイトルメニュー画面はディスクによって異なります。

2 ◀▶▶▶ボタンで項目を選ぶ



- DVDによっては数字ボタンで選べるものがあります。

3 ENTERボタンを押す

ENTER



- 項目が決定します。
- 以下メニューに従って操作します。

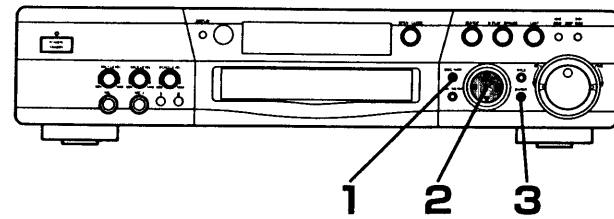
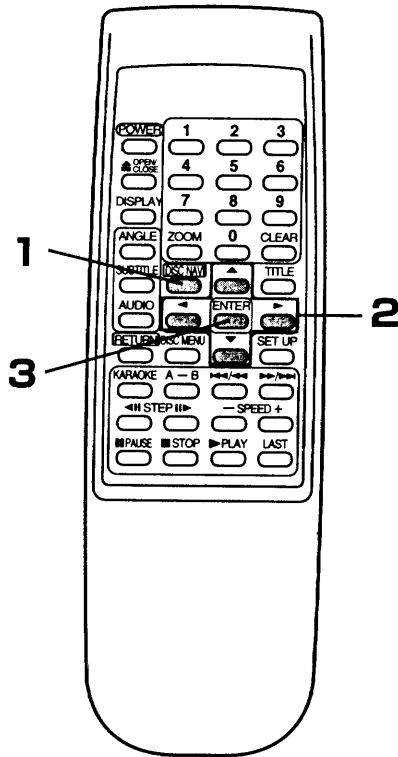


- ディスクによっては、操作ができないものがあります。
- ディスクによっては、DISC MENUボタンやTITLEボタンを押しても同じ画面を表示するものがあります。

ディスクナビゲーション



ディスクナビゲーション機能は、ディスクに記録されている各チャプター (DVD) /トラック (ビデオCD) の先頭画面を表示することができます。



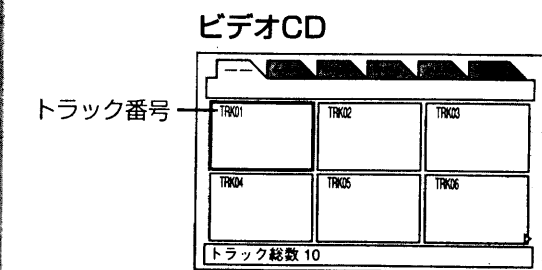
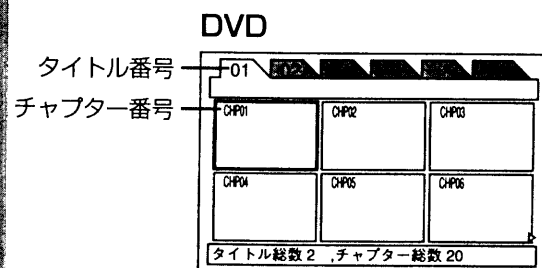
1 DISC NAVIボタンを押す



●各チャプター/トラックの先頭画面が表示されます。

2 ◀▶▶▶ボタンでチャプター/トラックを選ぶ

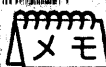
●▶を押すごとに次のページが表示されます。
(チャプター、トラックによっては表示されないものがあります。)



3 ENTERボタンを押す

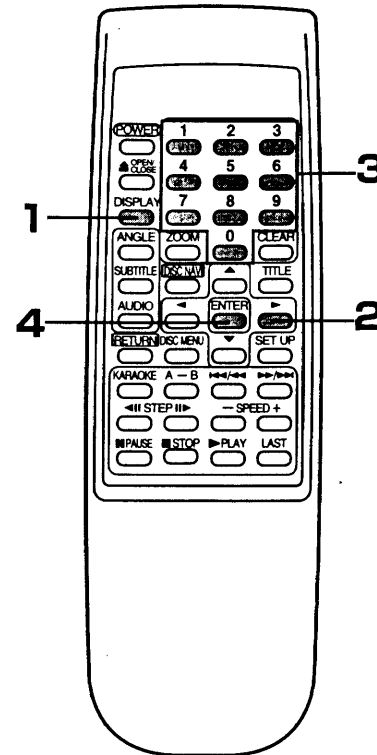


●再生が始まります。
●PLAY▶ボタンでも再生が始まります。

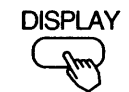


- もう一度DISC NAVIボタンを押すと、この機能は解除され、停止状態になります。
- 赤い枠を右端へ移動させてさらに▶ボタンを押すと次のページが表示されます。赤い枠を左端へ移動させてさらに◀ボタンを押すと前のページに戻ります。
- 他のタイトルを表示したいときは、▲ボタンでタイトル番号を選び、◀▶で表示したいタイトル番号を選びます。
- ビデオCDでディスクナビゲーション機能を使うとPBCが自動的に解除されます。22

タイトル/チャプター/トラックサーチ



1 DISPLAYボタンを押す

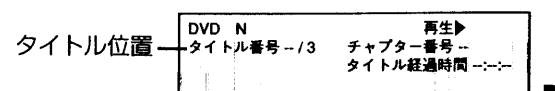


●モード表示画面が表示されます。

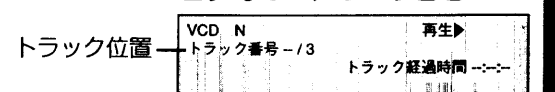
2 ▶ボタンでタイトル/トラック位置を選ぶ

●選ばれると文字列が赤くなります。

DVDのとき



ビデオCD、CDのとき



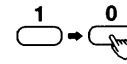
●タイトル番号やトラック番号の分母は記録されている総タイトル数、総トラック数です。

3 数字ボタンでタイトル/トラック/チャプターを設定する

例1. タイトルの3を選ぶとき

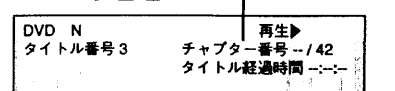


例2. タイトルの10を選ぶとき



●DVDのときは、さらに▶ボタンでチャプターの位置を選び、数字ボタンでチャプターを設定します。

DVDのとき

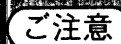


●チャプター番号の分母は、指定したタイトルに含まれる全チャプター数です。

4 ENTERボタンを押す



●指定したタイトル/チャプター/トラックの画面から再生します。
●PLAY▶ボタンでも再生が始まります。
●取り消したいときは、CLEARボタンを押します。



DVDで停止中にチャプターサーチをする場合は、必ずタイトル番号を指定してください。



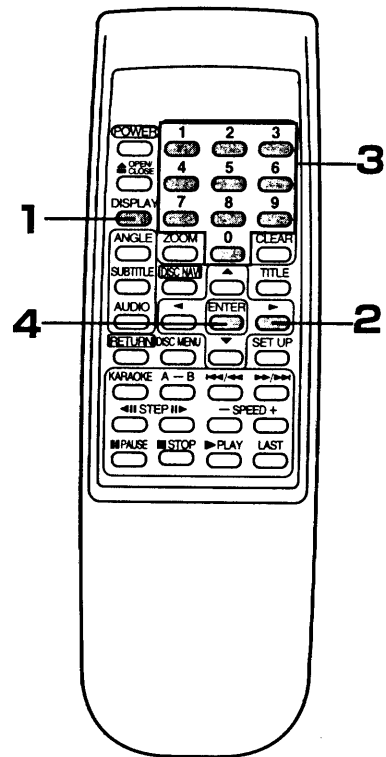
●DVDで再生中にタイトルを指定しないでチャプターを指定すると、現在再生中のタイトルの中のチャプターの意味になります。タイトルしか指定しなければ、そのタイトルの始まりをサーチします。

●DISPLAYボタンを2回、3回と続けて押すと、残り時間やディスク情報 (DVDのみ) を見ることができます。39

基本操作

ディスクナビゲーション

タイトル/チャプター/トラックサーチ



1 DISPLAYボタンを押す

DISPLAY

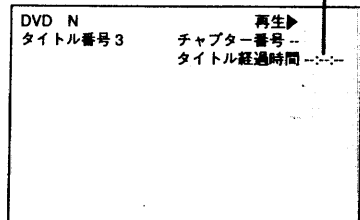


- モード表示画面が表示されます。
- タイトル/トラック番号を入力する。25

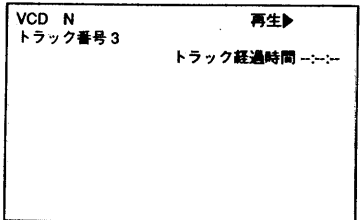
2 ボタンで時間表示位置を選ぶ

- 選ばれると時間表示が00:00:00になります。

DVDのとき 時間表示位置

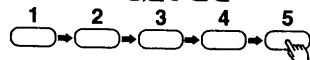


ビデオCD、CDのとき



3 数字ボタンで時間を設定する

例. 1:23:45を選ぶとき



数字ボタンを押すごとに、次のように表示されます。

00:00:01
00:00:12
⋮
01:23:45

4 ENTERボタンを押す

ENTER



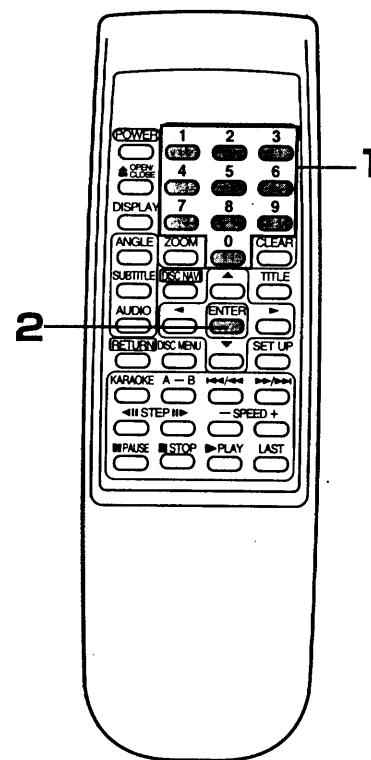
- 指定したタイトル/トラックの指定した時間の画面から再生します。
- PLAY▶ボタンでも再生が始まります。
- 取り消したいときは、CLEARボタンを押します。

ご注意
停止中にタイムサーチをする場合は、必ずタイトル/トラック番号を指定してください。

メモ
●時間は指定するタイトル、トラックの始めからの時間です。
●再生中にタイトル/トラックを指定しないで時間を入力すると、現在再生中のタイトル/トラックの始めからの時間になります。

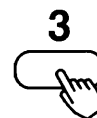


CDは、テレビ画面を見なくても、本機の表示窓だけで操作できます。

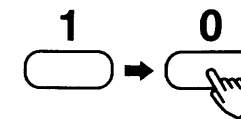


1 数字ボタンで直接トラック番号を選ぶ

例1. トラックの3を選ぶとき



例2. トラックの10を選ぶとき



- ボタンを押し間違えた場合は、CLEARボタンを押すと消去されます。また、数字ボタンで再入力すると、上書きします。

2 ENTERボタンを押す

ENTER



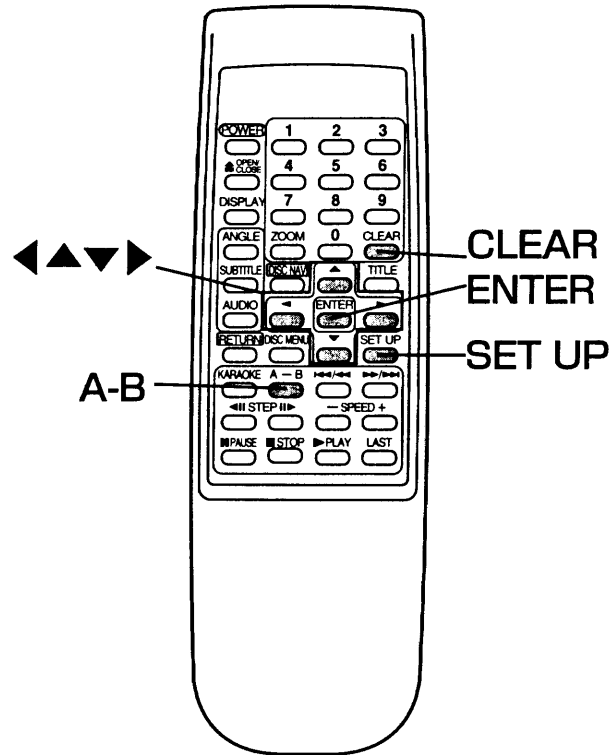
- 指定したトラックを再生します。
- PLAY▶ボタンでも再生が始まります。

メモ
●トラック番号を入力したあと▶ボタンを押すと、表示窓が時間入力モードになって、H、M、Sが点滅します。数字ボタンで時間を入力し、ENTERボタンを押すと、指定したトラックの指定した時間から再生します。時間は、そのトラックの始まりからの時間です。
●停止中にSKIP▶▶/▶▶◀◀/◀◀▶▶ボタンを押すと表示窓にトラック番号が表示されます。希望するトラック番号を選び、PLAY▶ボタンを押すとそのトラックが再生されます。

繰り返して再生する (リピート再生)

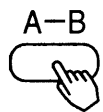


再生中のディスク、タイトル、チャプター、トラックを繰り返して再生することができます。また、指定した箇所を繰り返して再生することもできます。



指定した箇所をリピート再生する

繰り返したい始めと終わりで A-B ボタンを押す



●A-Bボタンをもう一度押すとキャンセルされます。

ご注意

- ディスクによっては、リピート再生ができないものがあります。
- ビデオCDでは、メニュー画面を表示して再生をしたとき (PBC再生)、ディスクリピートやトラックリピートを行うことができません。

ディスク、タイトル、チャプター、トラックをリピート再生する

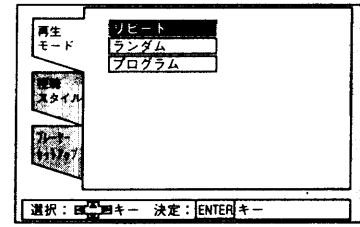
1 SET UP ボタンを押す

SET UP



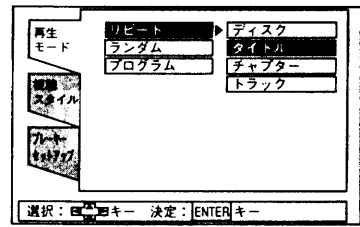
●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▶▶▶ ボタンでリピートを選ぶ



3 ◀▶▶▶ ボタンでリピート再生したい項目を選び、ENTER ボタンを押す

ENTER



- 表示窓に REPEAT が表示されます。
再生中の場合は…再生中のタイトル/チャプター/トラックに関するリピート再生を始めます。
停止中の場合は…タイトル/チャプター/トラックサーチ [25]、[27] によりリピート再生したいタイトル/チャプター/トラックを選び、再生を始めます。
- ディスクを選択するとディスク全体 (ビデオCD、CD) をリピート再生します。
- PLAY ▶ ボタンでも再生が始まります。

リピート再生を止める

CLEAR ボタンを押す

CLEAR

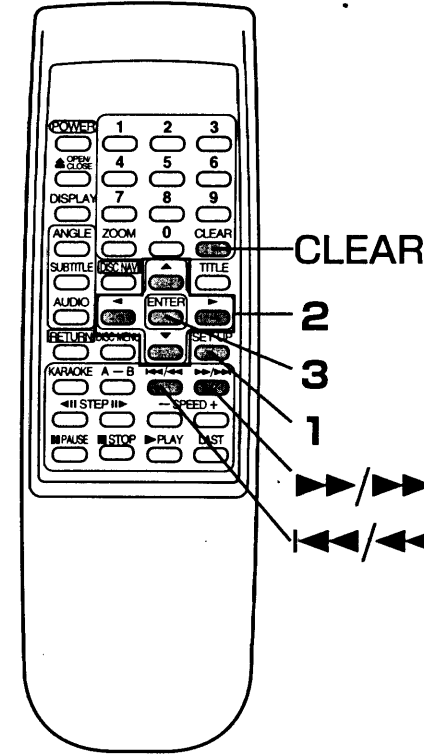


- リピート再生を終了し、再生はそのままつづきます。
- STOP ■ ボタンを押すとリピート再生を終了し、停止します。

順不同で再生する (ランダム再生)



ディスクのタイトル、チャプター、トラックを本機が順不同に並べ変えて再生します。すべての再生が終わると停止します。



ランダム再生する

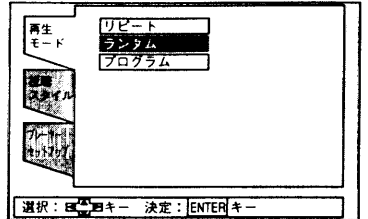
1 SET UP ボタンを押す

SET UP



●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▶▶▶ ボタンでランダムを選択する



3 ENTER ボタンを押す

ENTER



●表示窓に RANDOM が表示され、ランダム再生を始めます。

■ランダム再生中に

- ▶▶/▶▶ ボタンを押すと、次にプレーヤーが選ぶチャプター/トラックが再生されます。
- ◀◀/◀◀ ボタンを押すと、ひとつ前に再生したチャプター/トラックに戻ります。

メモ

- ディスクによっては、ランダム再生ができないものがあります。
- ビデオCDでは、メニュー画面を表示して再生した場合 (PBC再生)、ランダム再生をするとPBCが解除されます。 [22]
- プログラムした内容をランダム再生することできません。
- ランダム再生では、最大99のチャプター/トラックを再生します。

ランダム再生を止める

CLEAR ボタンを押す

CLEAR



- ランダム再生を終了し、現在再生しているチャプター/トラックのあとを順番に再生していきます。
- STOP ■ ボタンを押すとランダム再生を終了し、停止します。

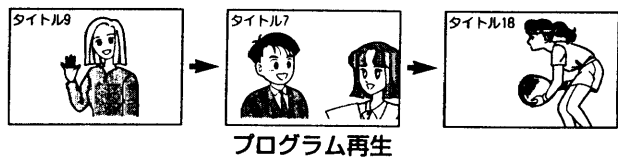
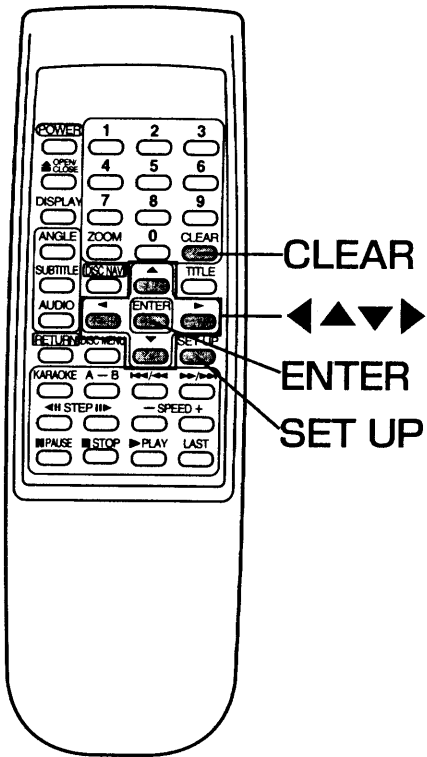
繰り返して再生する ■ 順不同で再生する

応用操作

お好みの順番で再生する (プログラム再生)



お好みの順番で再生することができます。プログラムする内容はディスクによって異なります。(DVDではタイトルとチャプター、ビデオCD、CDではトラック)



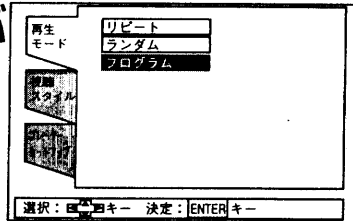
プログラムを設定する

1 SET UPボタンを押す

SET UP

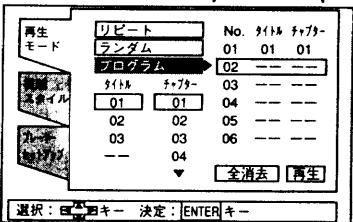
●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▶▶▶ボタンでプログラムを選ぶ



3 ◀▶▶▶ボタンでお好みのタイトルとチャプターを選び、ENTERボタンを押す

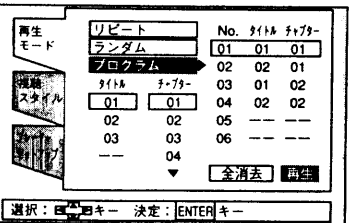
ENTER



●この操作を行うことに、ひとつずつプログラムリストに登録されます。
●ビデオCD、CDのときは、トラックを選びます。

4 ◀▶▶▶ボタンで再生を選び、ENTERボタンを押す

ENTER



●表示窓にPROGRAMが表示され、プログラム再生を始めます。
●PLAY ▶ ボタンでも再生が始まります。

メモ

- ビデオCD、CDのときは多少画面が異なります。
- タイトル、チャプター、プログラム、全消去、再生の各位置へ移動するには▶ボタンを使います。
- プログラムは最大99ステップです。
- 設定したプログラム再生が終了すると停止状態になります。
- ディスクによっては、プログラム通り動作しないものがあります。
- ビデオCDでは、メニュー画面を表示して再生した場合 (PBC再生)、プログラム再生すると、PBCが解除されます。22

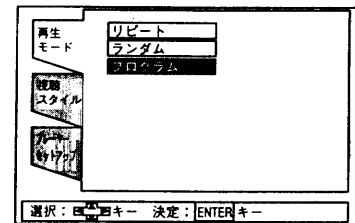
プログラムをすべて消す

1 SET UPボタンを押す

SET UP

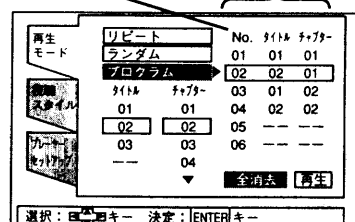
●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▶▶▶ボタンでプログラムを選ぶ



3 ◀▶▶▶ボタンで全消去を選び、ENTERボタンを押す

ENTER



●SET UPボタンを押すとセットアップ画面を終了します。
●ひとつずつ消すには、プログラムリストから◀▶▶▶ボタンで消したいプログラムNo.を選び、CLEARボタンを押します。

ご注意

- ビデオCDをメニュー画面を表示して再生したとき (PBC時)、プログラム再生をすることができません。
- チャプターの移り変わりのときに、一瞬プログラムしていないチャプターの画面が見えることがあります。

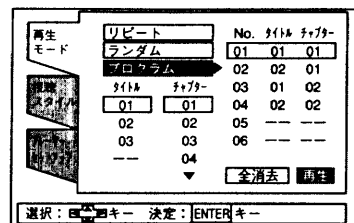
プログラムを確認する

1 SET UPボタンを押す

SET UP

●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▶▶▶ボタンでプログラムを選ぶ



●セットアップ画面が表示されます。

3 確認が終了したらSET UPボタンを押す

SET UP

●セットアップ画面を終了します。

プログラム再生を止める

CLEARボタンを押す

CLEAR



- プログラム再生を終了し、現在再生されている曲のあとを順番に再生していきます。
- STOP■ボタンを押すとプログラム再生を終了し、停止します。

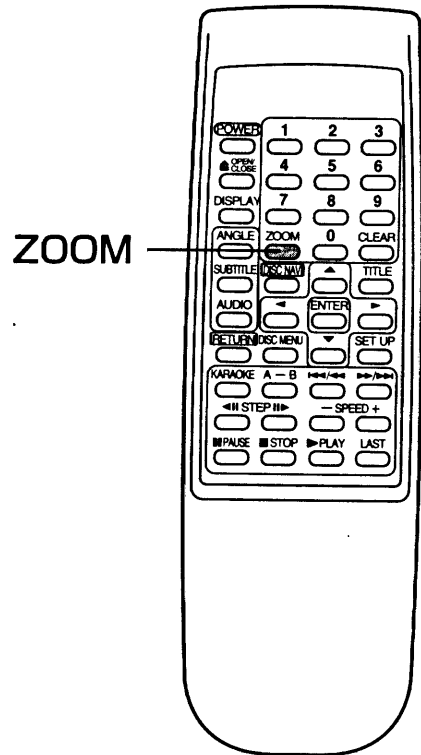
お好みの順番で再生する

応用操作

画面の一部を拡大する (ズーム)

DVD VIDEO

画面の一部を2倍、4倍と拡大することができます。

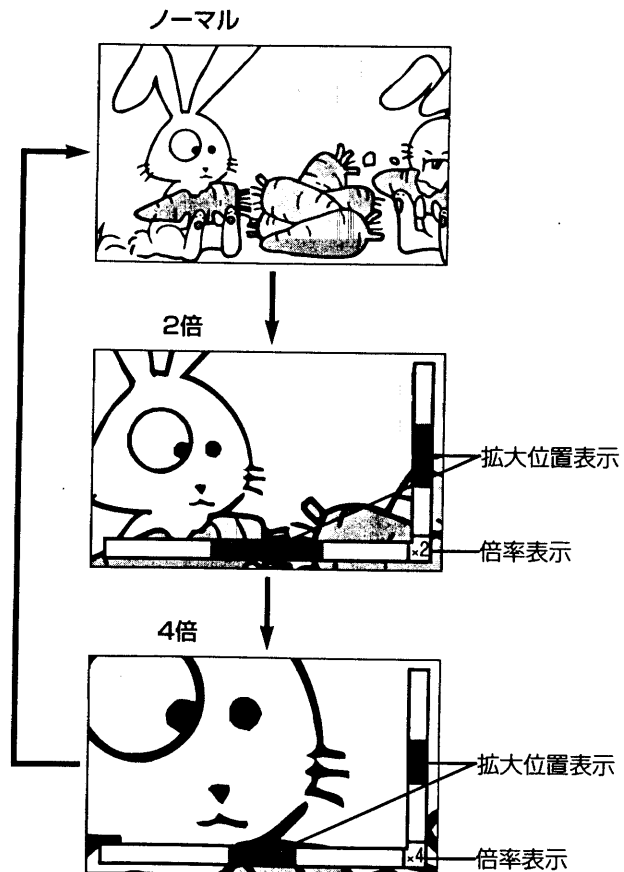


再生中にZOOMボタンを押す

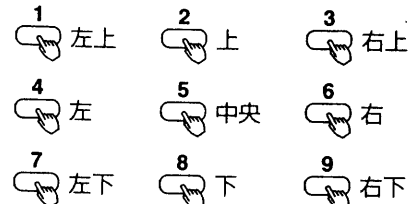
ZOOM



- ボタンを押すごとに画面が切り換わります。
- 画面に拡大位置表示と倍率表示が表示されます。



- ズーム再生中に◀▶ボタンを押すと、拡大位置を変更することができます。
- 数字ボタン (1 ~ 9) でも拡大位置を変更することができます。



ご注意

- ズームすると、通常の画面では気にならない部分も拡大されるため、画質は劣化します。2倍よりも4倍の方が画質は劣化します。
- ズーム中は、画像がゆれることがあります。

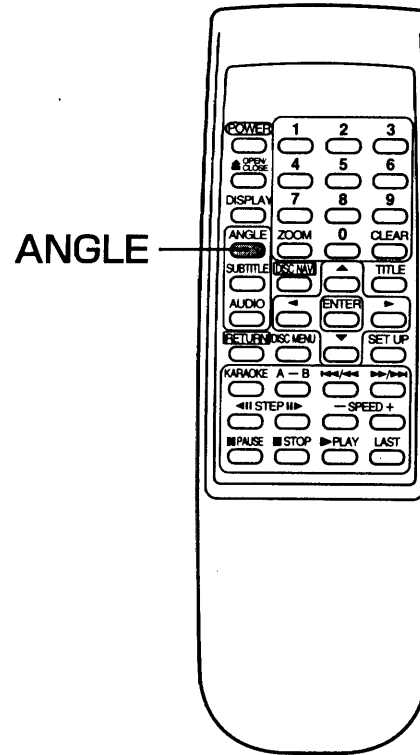
メモ

- CLEARボタンを押すと、拡大位置表示が消えます。
- ビデオCDは、4倍ズームにすることができません。
- ビデオCDの高精細静止画はズームできません。
- 字幕やメニューの選択表示などは拡大されません。

見たい方向からの映像を選ぶ (アングル)

DVD VIDEO

複数の方向から映された映像が記録されたDVDで選ぶことができます。



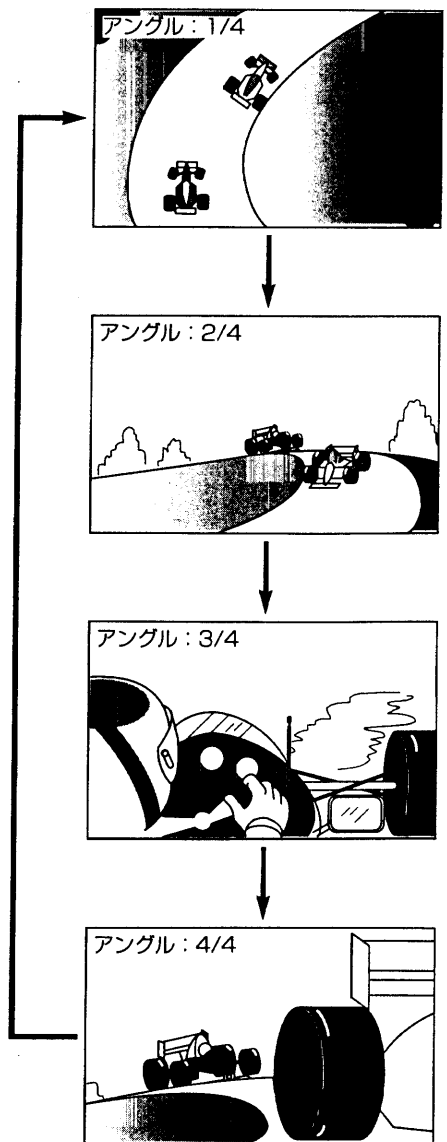
再生中、表示窓にANGLEが点滅しているとき、ANGLEボタンを押す

ANGLE



- ボタンを押すごとに画面が切り換わります。
- 画面に選択されているアングル番号が表示されます。

例 4つのアングルが記録されている場合



分母…記録されているアングルの総数を示します。
分子…選択されているアングル番号を示します。

メモ

- マルチアングル機能は、複数のアングルが記録されたディスクでなければ選択できません。また、複数のアングルが記録されているディスクでも表示窓のANGLEが点滅していないときは選択できません。
- ANGLEボタンを押してからアングルが切り換わるまで数秒かかります。

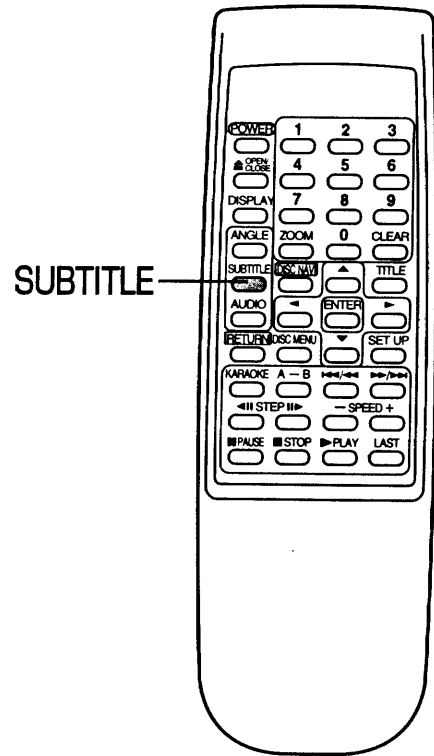
画面の一部を拡大する
見たい方向からの映像を選ぶ

応用操作

字幕言語を選ぶ

DVD

複数の字幕言語が記録されたDVDでは、字幕言語を選ぶことができます。

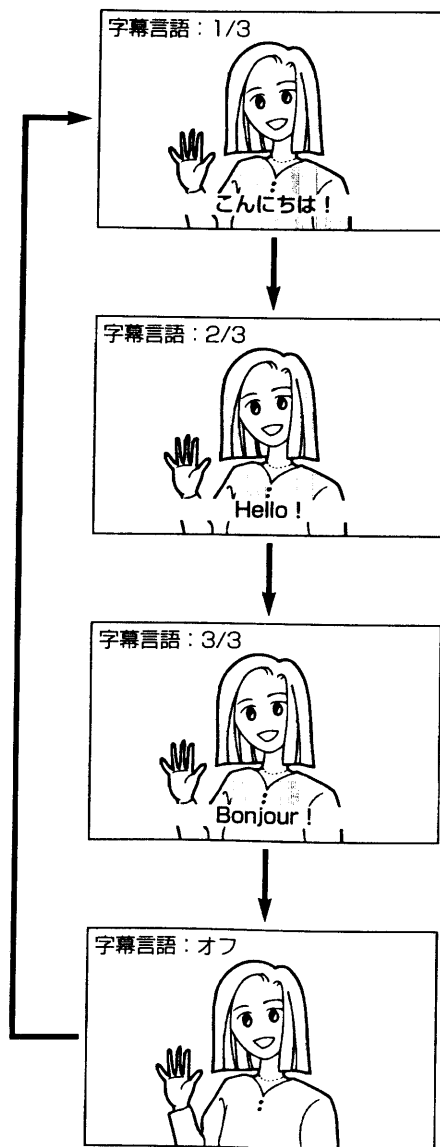


再生中にSUBTITLEボタンを押す

SUBTITLE

- ボタンを押すごとに字幕言語が切り換わります。
- 画面に選択されているの字幕言語番号が表示されます。

例 3つの字幕言語が記録されている場合



分母…記録されている字幕言語の総数を示します。
分子…選択されている字幕言語番号を示します。
オフ…字幕言語を表示しません。

■字幕言語を消すには

再生中はSUBTITLEボタンを押し、オフを選びます。また、サブタイトルメニューを表示しているときは、「オフ」を選択すると消すことができます。

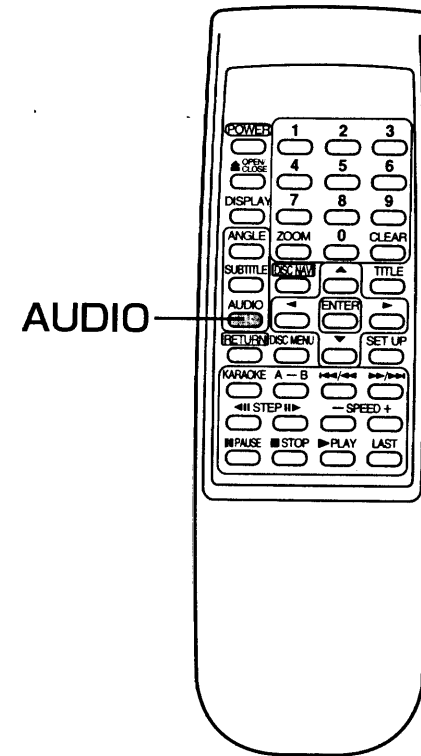
メモ

- 字幕言語が切り換わらないときは、字幕が記録されていない、または1つしか記録されていないためです。
- ディスクにメニュー画面が記録されている場合は、DISC MENUボタンを押し、メニュー画面で選ぶこともできます。22
- SET UPボタンを押して表示されるセットアップ画面でも字幕言語を選ぶことができます。41

音声言語を選ぶ

DVD

複数の音声言語が記録されたDVDでは、音声言語を選ぶことができます。音声言語に限らず、ひとつの映像に複数の種類の音声が記録されているディスクで聞きたい音声を選ぶことができます。

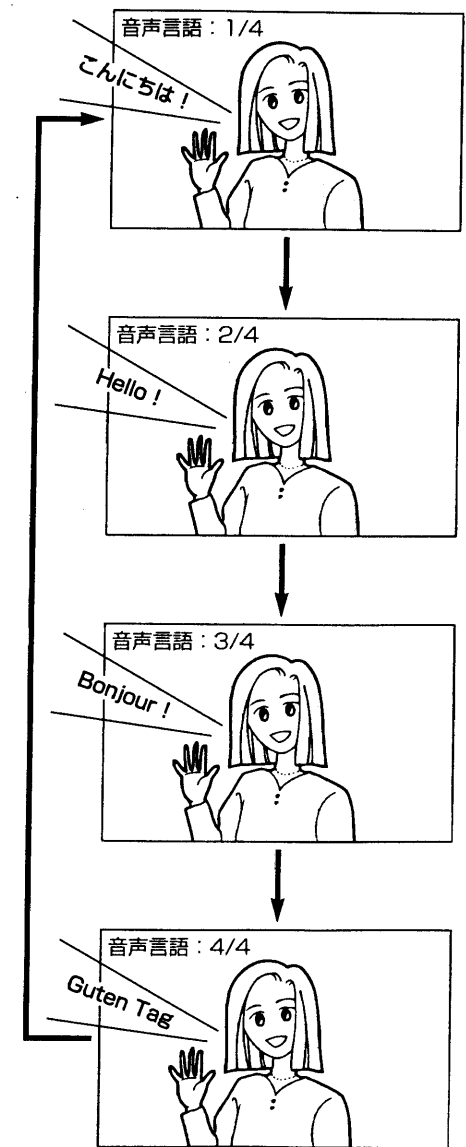


再生中にAUDIOボタンを押す

AUDIO

- ボタンを押すごとに音声言語が切り換わります。
- 画面に選択されている音声言語番号が表示されます。

例 4つの音声言語が記録されている場合



分母…記録されている音声言語の総数を示します。
分子…選択されている音声言語番号を示します。

メモ

- DVDには、ドルビーデジタルやPCMなどの音声がいろいろな言語で記録されています。好きな音声言語をお楽しみください。
- 音声言語が切り換わらないときは、1つしか記録されていないためです。
- ディスクにメニュー画面が記録されている場合は、DISC MENUボタンを押し、メニュー画面で選ぶこともできます。22
- SET UPボタンを押して表示されるセットアップ画面でも音声言語を選ぶことができます。41
- ビデオCD、CDのときにAUDIOボタンを押すと、L、R、L/Rの切り換えになります。38

■字幕言語を選ぶ

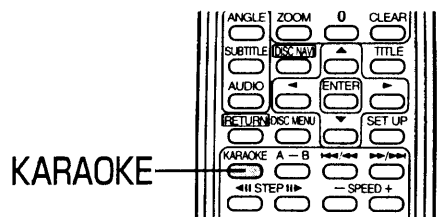
■音声言語を選ぶ

■応用操作

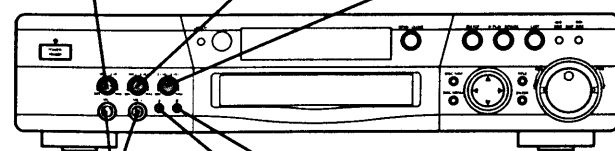
カラオケを楽しむ



カラオケ機能はマイクをマイク入力端子に差し込むとONになり、抜くとOFFになります。また、カラオケ機能がONのとき、表示窓にKARAOKEが表示されます。



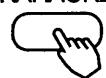
MIC1 VOL MIC2 VOL ECHO VOL



マイク入力端子 b #

マイクを差し込んだ状態で
KARAOKEボタンを押す

KARAOKE



- ボタンを押すごとにカラオケモードが切り換わります。
- 画面に選択されているカラオケモードが表示されます。

ご注意

- カラオケを楽しむとき以外は、マイクをマイク入力端子から抜いておいてください。マイクを差し込んだままにすると、ノイズ発生などの原因になる場合があります。
- ハウリング（ピーという音）が起きる場合は、次のようにしてください。
 1. マイクをスピーカーから離す
 2. マイクの音量を小さくする
 3. スピーカーからの音量を小さくする
 4. エコーレベルを小さくする
- デジタル光出力にはカラオケ機能は動きません。

メモ

DVDカラオケディスクのとき

- DVDカラオケディスクにはいくつかのタイプがあります。ディスクの説明書をあわせてご覧ください。
- DVDカラオケディスクにはカラオケL（伴奏左チャンネル）、カラオケR（伴奏右チャンネル）、ボーカル1、ボーカル2、ガイドメロディーの各音声が記録されています。ボーカル1、ボーカル2、ガイドメロディーは記録されていないディスクもあります。例えば、ボーカル2が記録されていないディスクのときは、VOCAL 2モードではボーカルが出力されません。また、カラオケディスクによっては、ボーカルなどの有無の切り換えを音声トラックの切り換えで行う方式のものがあります。その場合、音声の切り換えは、リモコンのAUDIOボタンで行ってください。35
- ボーカル切り換えできる音声トラックかどうかは、次のようにして確認できます。リモコンのDISPLAYボタンを3回押して、画面にディスク情報を表示します。「音声情報：ドルビーデジタル カラオケ音声」と表示されればKARAOKEボタンでボーカル選択できます。ボーカル選択できない音声トラックは、「音声情報：ドルビーデジタル 2ch」などと表示されます。39

ビデオCD、CDのとき

- ビデオCD、CDのとき、VOCAL OFF、AUTO VOCAL OFFはディスクによって動かないことがあります。特に、音声多重カラオケディスクは、これらのモードではボーカルが消えません。L、R、AUTO VOCAL L、またはAUTO VOCAL Rのモードをご使用ください。

■マイク音量について

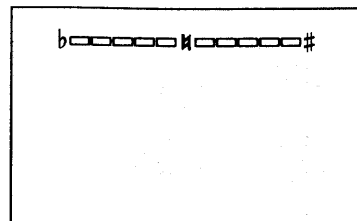
MIC1、MIC2の音量（ミキシングレベル）は、それぞれMIC1 VOL、MIC2 VOLを右に回しきったときに最大、左に回しきったときに最小になります。

■エコーレベルについて

MIC1、MIC2のエコーレベルはECHO VOLを右に回しきったときに最大、左に回しきったときに最小になります。

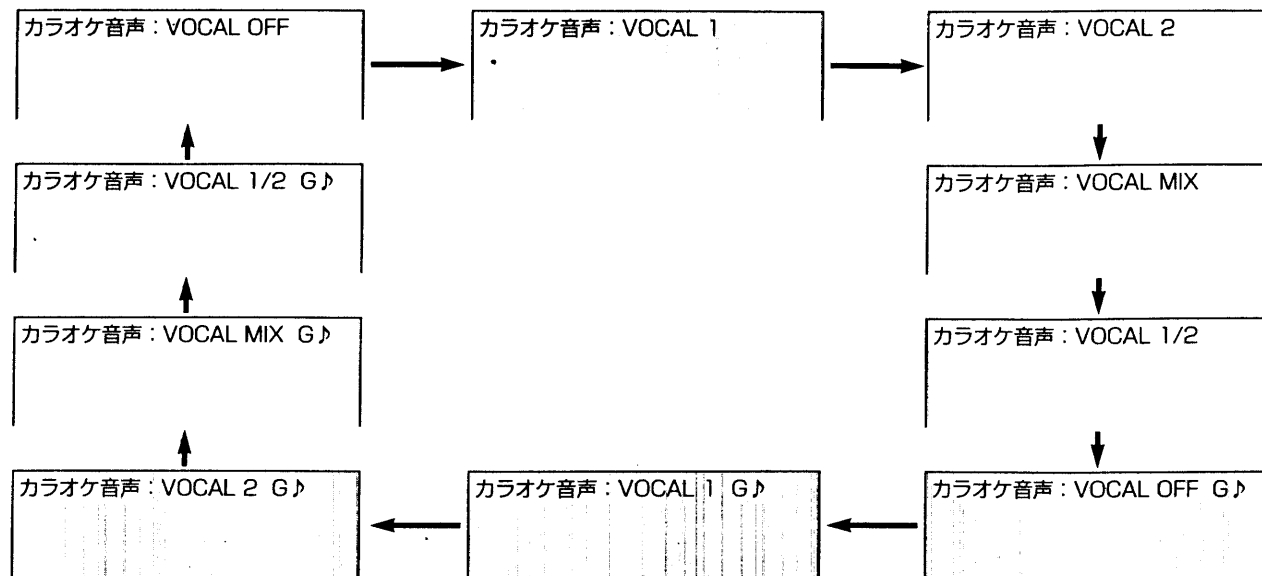
■キーコントロールについて

- キーアップ：前面の#ボタンを押すごとにキーが半音ずつ上がります。（センターから6ステップ）
- キーダウン：前面のbボタンを押すごとにキーが半音ずつ下がります。（センターから6ステップ）



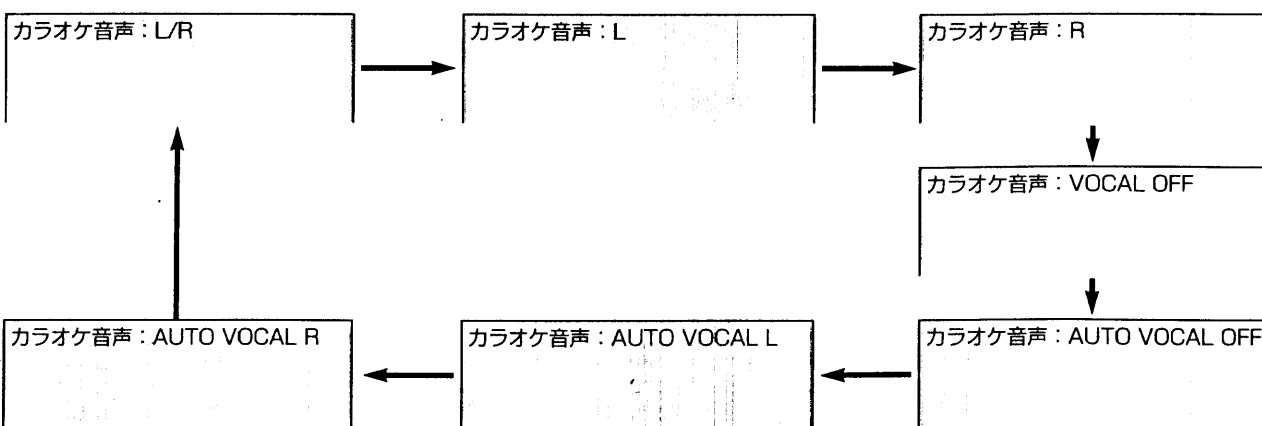
- キーが変更されている状態（キーがセンターにないとき）では音声出力は疑似ステレオになります。

DVDカラオケディスクのとき



- VOCAL OFF …… ボーカルが出力されません。（ガイドメロディーなし）
- VOCAL 1 …… ボーカル1だけ出力されます。（ガイドメロディーなし）
- VOCAL 2 …… ボーカル2だけ出力されます。（ガイドメロディーなし）
- VOCAL MIX …… ボーカル1とボーカル2をミックスして出力されます。（ガイドメロディーなし）
- VOCAL 1/2 …… ボーカル1とボーカル2がそれぞれ出力されます。（ガイドメロディーなし）
- VOCAL OFF G♪ …… ボーカルが出力されません。（ガイドメロディーあり）
- VOCAL 1 G♪ …… ボーカル1だけ出力されます。（ガイドメロディーあり）
- VOCAL 2 G♪ …… ボーカル2だけ出力されます。（ガイドメロディーあり）
- VOCAL MIX G♪ …… ボーカル1とボーカル2をミックスして出力されます。（ガイドメロディーあり）
- VOCAL 1/2 G♪ …… ボーカル1とボーカル2がそれぞれ出力されます。（ガイドメロディーあり）

ビデオCD、CDのとき



- L/R …… ステレオ音声出力されます。
- L …… Lch（左）の音声出力されます。
- R …… Rch（右）の音声出力されます。
- VOCAL OFF …… 音楽用CDなどのステレオ録音された音声から中央に定位しているボーカルを消します。
- AUTO VOCAL OFF …… マイクから声が入力されたら、音楽用CDなどのステレオ録音された音声から中央に定位しているボーカルを消します。
- AUTO VOCAL L …… マイクから声が入力されたら、Lch（左）の音声出力されます。
- AUTO VOCAL R …… マイクから声が入力されたら、Rch（右）の音声出力されます。

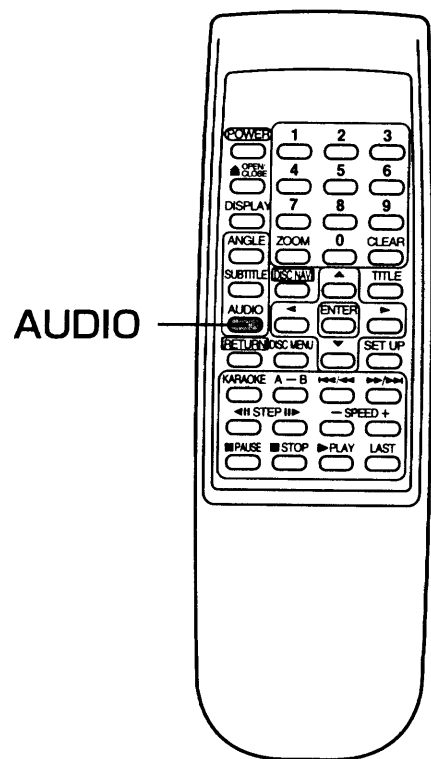
カラオケを楽しむ

応用操作

音声を切り換える



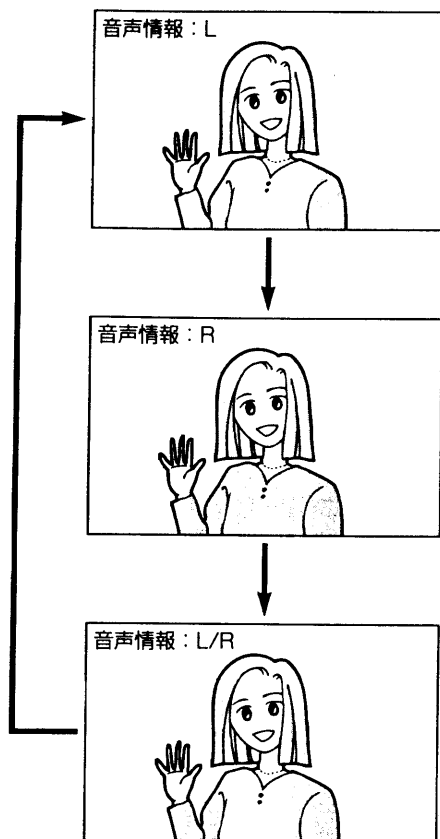
お好みの音声に切り換えることができます。



再生中にAUDIOボタンを押す



- ボタンを押すごとに音声切り換わります。
- 画面に選択されている音声情報が表示されます。



L ……Lch (左) の音声が左右両方のスピーカから出ます。
 R ……Rch (右) の音声が左右両方のスピーカから出ます。
 L/R ……Lch (左) の音声が左のスピーカから、Rch (右) の音声が右のスピーカから出ます。

ご注意
 ●カラオケ機能がオンのとき(マイクを差し込んだ状態)にビデオCD、CDではAUDIOボタンは動きません。

メモ
 ●DVD再生中にAUDIOボタンを押すと、音声言語の切り換えになります。35

情報を見る

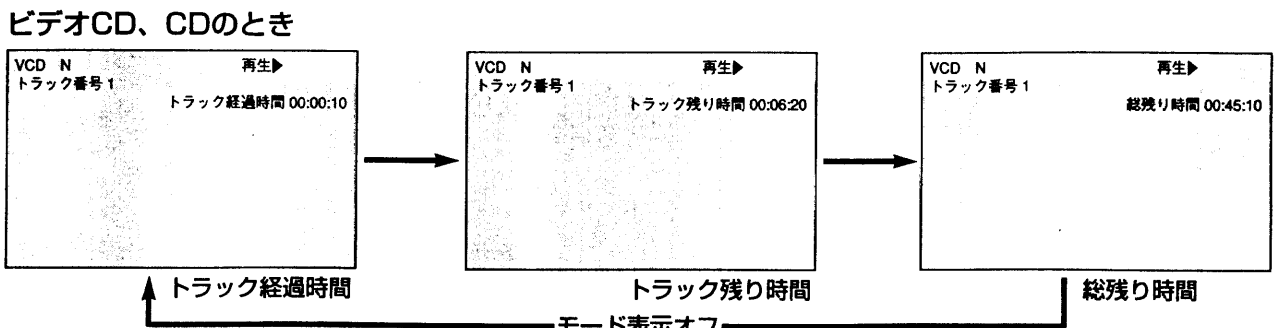
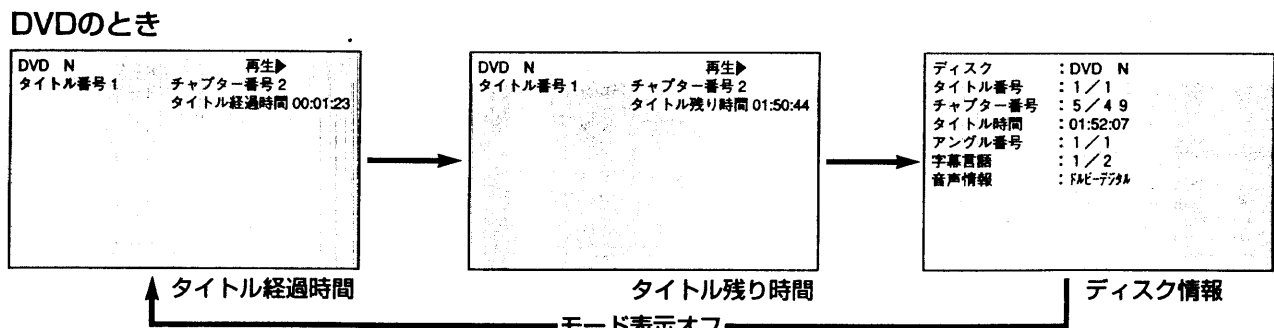


ディスクの再生状態やいろいろな時間表示を表示することができます。
 時間表示はディスクによって異なります。

DISPLAYボタンを押す

●画面にモード表示が表示されます。
 ●ボタンを押すごとに表示が切り換わります。

タイトル経過時間…タイトルの経過時間を表示します。
 タイトル残り時間…タイトルの残り時間を表示します。
 トラック経過時間…トラックの経過時間を表示します。
 トラック残り時間…トラックの残り時間を表示します。
 タイトル時間…再生中のタイトルの総時間を表示します。
 総残り時間…トータル(再生中のディスク)の残り時間を表示します。
 ディスク情報…再生しているディスクの情報を表示します。
 モード表示オフ…モード表示を消します。



ご注意
 ●ディスクによっては時間を表示しないものがあります。
 ●本体のDISPLAYボタンで操作するとタイトル/トラック経過時間は表示されません。
 ●本体の表示窓をオフにするとはできません。

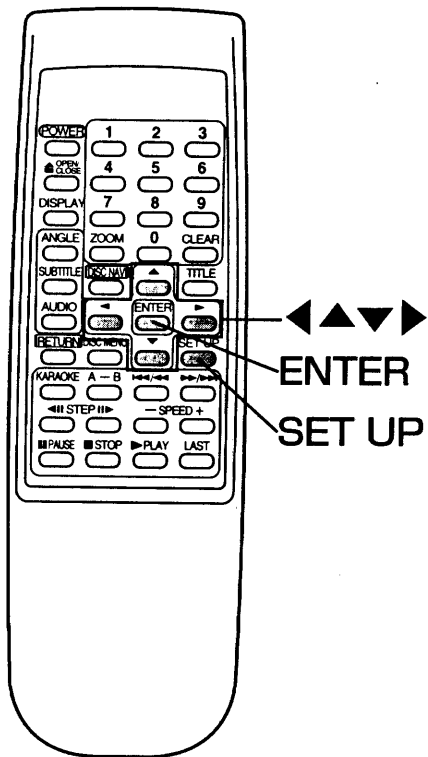
メモ
 ●時間表示やディスク情報表示をしているときに▶ボタンを押すと、タイトル/チャプター/トラックサーチのモードになります。25
 ●DISPLAYボタンでモード表示をオフにしても、再生モードが変わるとタイトル/トラック番号 (T) やチャプター番号 (C) が約5秒間自動的に表示されます。

音声を切り換える
 情報を見る
 応用操作

ワイドテレビ用ソフトを設定する

DVD

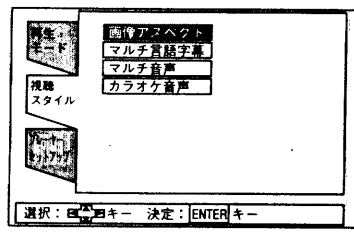
通常のテレビでDVDのワイド画像を再生するときに出力する画面の形（画像アスペクト）を設定します。



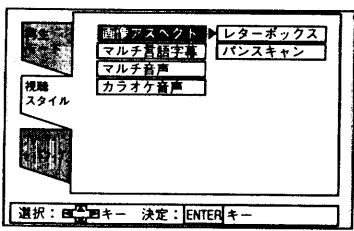
1 停止中にSET UPボタンを押す
SET UP

●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▶▶▶ボタンで視聴スタイルを選ぶ



3 ◀▶▶▶ボタンで画像アスペクトを選ぶ



4 ◀▶▶▶ボタンで設定したい項目を選び、ENTERボタンを押す
ENTER

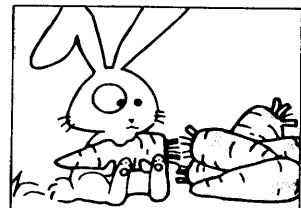
ENTER

●SET UPボタンを押すとセットアップ画面を終了します。

メモ
●通常のテレビは横4：縦3、ワイドテレビやハイビジョンテレビは横16：縦9の比率になっています。この横と縦の比率をアスペクト比と呼んでいます。
●この設定は、プレーヤーセットアップ、テレビの種類で4：3を選択したときに有効です。**44**
●DVDによっては、パンスキャンモード、レターボックスモードに対応していないものもあります。

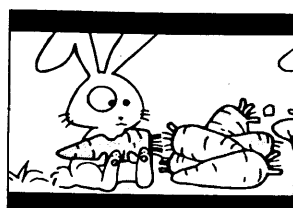
ワイドテレビ用に収録された映像を通常のテレビで見ると次のようになります。

パンスキャンモードでは、上下の高さに合わせて映し出します。



●元の映像の左右が欠けます。

レターボックスモードでは、左右の長さに合わせて映し出します。

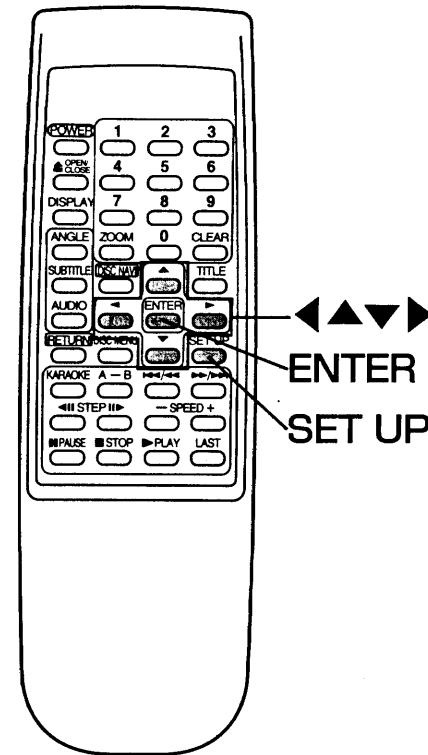


●上下の余った部分が帯状になります。

字幕言語／音声言語を設定する

DVD

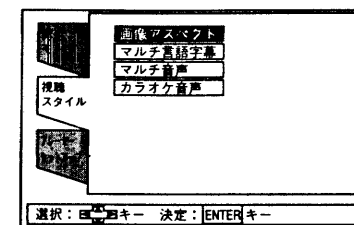
複数の字幕言語や音声言語が記録されたDVDでは、セットアップ画面で字幕言語や音声言語を選ぶことができます。



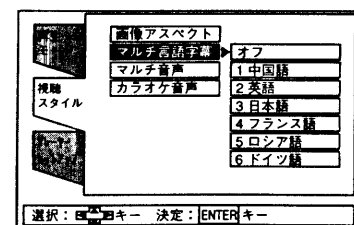
1 再生中にSET UPボタンを押す
SET UP

●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▶▶▶ボタンで視聴スタイルを選ぶ



3 ◀▶▶▶ボタンでマルチ言語字幕、またはマルチ音声を選ぶ



4 ◀▶▶▶ボタンでお好みの字幕言語、または音声言語を選び、ENTERボタンを押す
ENTER

ENTER

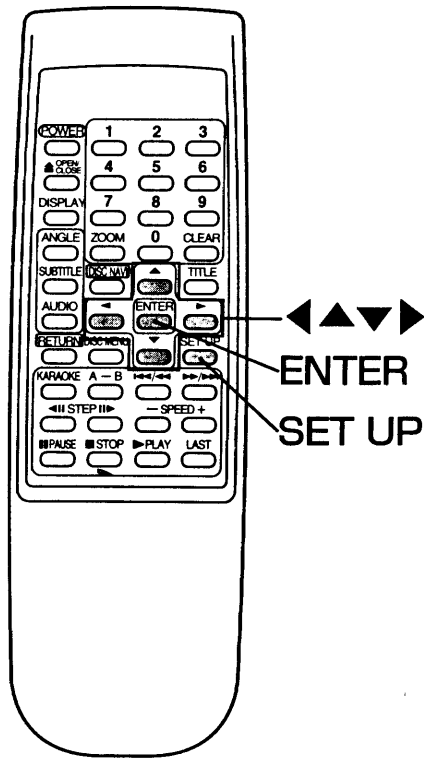
●SET UPボタンを押すとセットアップ画面を終了します。

メモ
●SUBTITLEボタンでも同様の字幕言語設定ができます。**34**
●AUDIOボタンでも同様の音声言語設定ができます。**35**
●セットアップ画面には、ディスクに記録されている字幕言語を表示します。日本語、英語、フランス語、ドイツ語、中国語、ロシア語以外の字幕言語は、言語一覧表**47**の番号を表示します。

ワイドテレビ用ソフトを設定する ■ 字幕言語／音声言語を設定する

設定

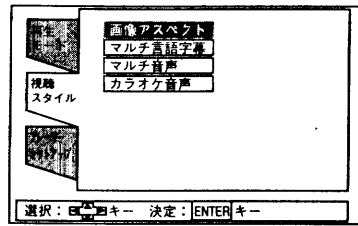
カラオケ音声を設定する



1 ディスクがセットされているときにSET UPボタンを押す

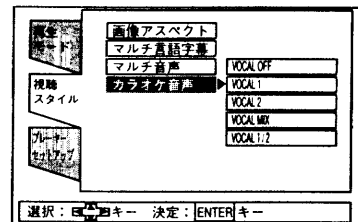
●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▶▶▶ ボタンで視聴スタイルを選ぶ

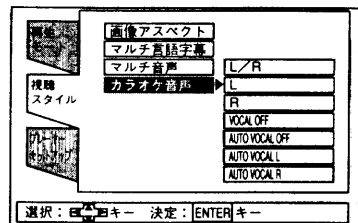


3 ◀▶▶▶ ボタンでカラオケ音声を選ぶ

DVDのとき



ビデオCD、CDのとき



4 ◀▶▶▶ ボタンでお好みのカラオケ音声をを選び、ENTERボタンを押す

ENTER



●SET UPボタンを押すとセットアップ画面を終了します。

ご注意

●デジタル光出力にはカラオケ機能は働きません。

メモ

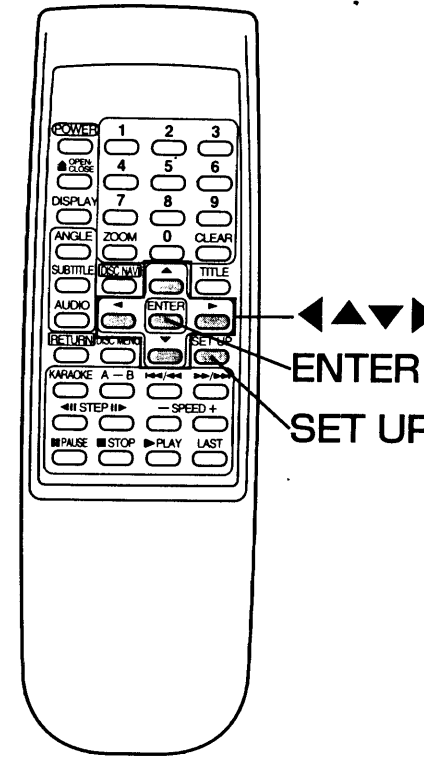
●マイクを差し込んでいないときは、設定はできますが音声は変わりません。マイクを差し込むと設定が有効となり、音声が変わります。

●マイクを差し込んでいるときは、KARAOKEボタンでも同様の設定ができます。33

視聴制限を設定する (パレンタルロック)



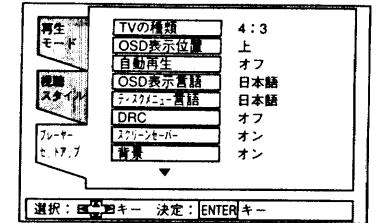
視聴制限対応のDVDを再生した場合、暴力シーンなど子供に見せたくない部分を飛ばして見るができます。



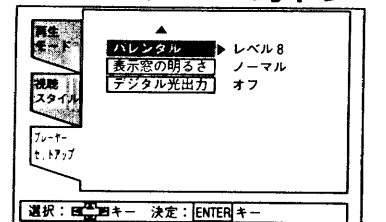
1 停止中にSET UPボタンを押す

●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▶▶▶ ボタンでプレーヤーセットアップを選ぶ

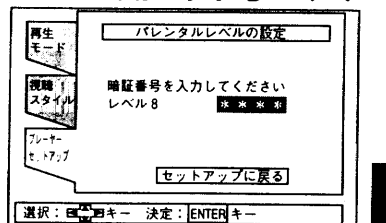


3 ◀▶▶▶ ボタンでパレンタルを選び、▶ボタンを押す



●暗証番号入力画面が表示されます。

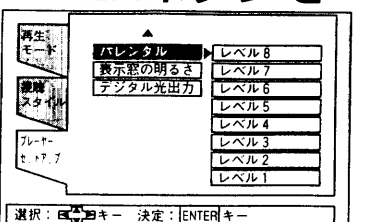
4 数字ボタンで暗証番号を入力する



●パレンタルレベル設定画面が表示されます。
●暗証番号を間違えると、パレンタルレベル設定画面へ進みません。もう一度、暗証番号を入力してください。
●パレンタルレベルを変えないときは、▼ボタンで「セットアップに戻る」を選び、ENTERボタンを押してください。

5 ◀▶▶▶ ボタンで設定したいパレンタルレベルを選び、ENTERボタンを押す

ENTER



●プレーヤーセットアップ画面に戻ります。

■初めてお使いになるとき

初めてお使いになるときは、暗証番号が設定されていません。暗証番号欄には0000が表示され、ENTERボタンを押すとパレンタルレベル設定画面が表示されます。

■暗証番号を登録するには

暗証番号入力画面(右の4)で4桁の数字を入力します。数字は次回からは表示されません。

■暗証番号を解除するには

暗証番号入力画面(右の4)でRETURNボタンを続けて4回押します。0000が表示され、初期状態になります。

メモ

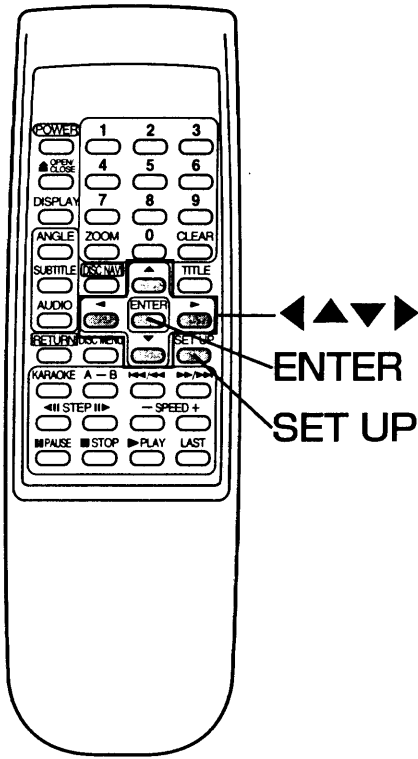
ディスクによってはパレンタルロックがかからないものがあります。

カラオケ音声を設定する

視聴制限を設定する

設定

さまざまな設定を変更する



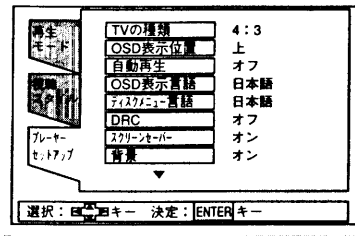
1 SET UPボタンを押す

SET UP



●セットアップ画面が表示されます。

2 ◀▶▶▶ボタンでプレイヤーセットアップを選ぶ



3 ◀▶▶▶ボタンで設定したい項目を選び、ENTERボタンを押す

ENTER



●SET UPボタンを押すとセットアップ画面を終了します。

初期状態 (工場出荷時)

①TVの種類	接続するテレビのアスペクト比を設定します。この設定は、停止中のみ可能です。	4:3 (通常のテレビ)	16:9 (ワイドテレビ)
②OSD表示位置	ワイドテレビで通常のソフトを見るときは、モード表示が画面の上にはみ出して、表示が見えなくなることがあります。表示位置を変更することでワイドテレビでもモード表示をみるようになります。	上	下 オフ
③自動続き再生	電源ON時にディスクが入っていると前回再生を停止したところから自動的に再生します。	オフ	オン
④OSD表示言語	モード表示とセットアップ画面を日本語表示か英語表示に切り換える設定です。	日本語	英語
⑤ディスクメニュー言語 (DVDのみ)	指定した言語でディスクメニューを表示します。指定した言語に対応していないディスクの場合は、そのディスクが対応している言語の中から自動的に選択されます。この設定は停止中のみ可能です。	日本語	希望する言語を指定します。47
⑥DRC (DVDのみ)	ドルビーデジタル音声のダイナミックレンジコントロールのことです。お手持ちのステレオシステムやテレビで映画の中の会話などが聞きづらい場合、オンに設定します。	オフ 広いダイナミックレンジでお楽しみいただけます。	オン ダイナミックレンジを圧縮します。DVDによっては効果のない場合があります。
⑦スクリーンセーバー	同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象がでることがあります。本機ではメニュー画面などを長時間 (5分以上) 表示し続けることによる画面の焼きつき現象を防止するため、スクリーンセーバー機能を搭載しています。「オン」にしておくことをおすすめします。スクリーンセーバー機能はいずれかの操作ボタンを押すと解除されます。	オン スクリーンセーバーが機能する	オフ スクリーンセーバーが機能しない

⑧背景	セットアップ画面や停止中の背景色を設定します。	オン (青)	オフ
⑨パレンタル (DVDのみ) 43	視聴制限のことをいいます。映像内容によって再生制限をかける機能です。視聴制限コードが記録してあるディスクを再生する場合、視聴制限 (パレンタルロック) をかけることができます。本機は、日本に対する視聴制限コードが記録されているディスクに対して機能しますので、ディスクによってはパレンタルレベルを変えてもパレンタルロックがかからない場合があります。パレンタルロックをかけると、視聴制限対応のDVDを再生した場合、暴力シーンなどで子供に見せたくない部分を飛ばして見ることができます。詳しくはディスクの取扱説明書をお読みください。一度暗証番号を設定すると、次回からは、その暗証番号を設定しないとパレンタルレベルの変更はできません。暗証番号は忘れないように控えておいてください。この設定は、停止中のみ可能です。	初期状態はLEVEL8です。	
⑩表示窓の明るさ	表示窓の明るさを変更します。 →ノーマル → ディマー1 → ディマー2	ノーマル (通常)	ディマー1 (少し暗い) ディマー2 (暗い)
⑪デジタル光出力	本機の光デジタル出力端子から出力する音声を変更できます。DVDでは、ドルビーデジタル音声 (映画館などで使用されている立体的な音声) とリニアPCM (CDでおなじみのデジタル音声) の2通りの規格があります。 AC-3/LPCM ドルビーデジタルの音声は、そのままドルビーデジタル信号で出力し、リニアPCMの音声なら、リニアPCMの信号で出力します。 LPCM ドルビーデジタルの音声は、リニアPCMに変換して出力し、リニアPCMの音声は、そのままリニアPCMの信号で出力します。	LPCM 通常のアンプ、ドルビープロロジックアンプ、MD、DATなどの光入力端子と接続する場合。	AC-3/LPCM ドルビーデジタル (AC-3) デコーダを搭載したアンプのドルビーデジタル (AC-3) 光入力端子と接続する場合。 オフ デジタル光出力は出力されません。48kHz 20/24ビットLPCMのDVDと96kHz LPCMのDVDの音声を、高音質で音声出力端子から出力するときは、この設定にしてください。デジタル光出力の設定が「オフ」以外の時は、DVDの音声出力端子からの音声は、48kHz 16ビット相当にダウンサンプリングされて出力されます。

再生ディスク	[AC-3/LPCM] 選択時の出力	[LPCM] 選択時の出力
48kHz, 16ビットLPCMのDVD	48kHz, 16ビットLPCM	←
48kHz, 20/24ビットLPCMのDVD	48kHz, 16ビットLPCM	←
96kHzPCMのDVD	48kHz, 16ビットLPCM	←
ドルビーデジタルAC-3のDVD	AC-3 ビットストリーム	48kHz, 16ビットLPCM
MPEGオーディオのDVD	48kHz, 16ビットLPCM	←
CD	44.1kHz, 16ビットLPCM	←
ビデオCD	44.1kHz, 16ビットLPCM	←

■ディスクメニュー言語を日本語、英語、中国語、フランス語以外にするには

1. ◀▶▶▶ボタン操作で「その他」を選ぶ
2. 言語一覧表 47 から希望する言語名に対応する番号を数字ボタンで4桁入力する
3. ENTERボタンを押す

■設定を初期状態 (工場出荷時) に戻す (この操作は、ディスクが入っていない状態で行ってください。)

パレンタルレベルの暗証番号、セットアップ情報、ラスト再生のメモリーなどのすべての設定を初期状態 (工場出荷時) に戻すには、電源ONの状態、本体のSTOP■ボタンを押しながらPOWER/STANDBYボタンを一度押して離し、STOP■ボタンを更に5秒以上押しつづけてください。[Video CD]、[CD]、[DVD] が点滅したあと、同時点灯すると完了です。

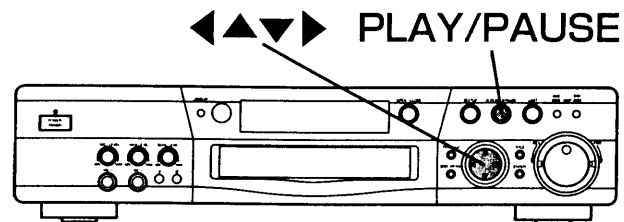
■さまざまな設定を変更する

設定

出力フォーマットを変更する



ビデオ信号の出力フォーマットを変更することができます。



この出力フォーマットを変更する操作は、ディスクが入っていない状態で行ってください。

電源ON状態で5秒以上前面のPLAY/PAUSE▶/■ボタンと▲ボタンを同時に押す

- 表示窓に現在の出力フォーマットが約5秒間表示されます。
 n ……NTSCモード
 P ……PALモード
 A ……AUTOモード

表示が出ている間に▲ボタンを押す

- ▲ボタンを押すごとに出力フォーマットが切り換わります。



- 出力フォーマットを選んだあと、表示が消えるまで待ちます。
- 表示が消えたら、POWER/STANDBYボタンを押して一度電源をオフにし、もう一度オンしてからお使いください。

NTSCモード

ビデオCDのPALディスクは、NTSCフォーマットで出力されます。DVD、ビデオCDのNTSCディスクは、NTSCフォーマットで出力されます。

PALモード

DVD、ビデオCDのNTSCディスクでもPALディスクでもPALフォーマットで出力されます。

AUTOモード

DVD、ビデオCDのNTSCディスクをかけた時はNTSCフォーマットで、PALディスクをかけた時はPALフォーマットで出力します。

ご注意

- DVDのリージョンコードが本機のリージョンコードと異なる場合は動作しません。
- DVDのPALディスクをNTSCフォーマットで出力することはできません。
- ビデオCDのPALディスクをNTSCフォーマットで出力するとき、若干縦長の画面になります。

メモ NTSC、PALフォーマットについて

日本では、ほとんどのテレビ受像機がNTSCフォーマットに対応しているため、この変更は不要です。(このDVDプレーヤーは、工場出荷時にNTSCフォーマット出力に設定してあります。)

NTSCフォーマット、PALフォーマットとは

テレビ信号の規格のことです。この規格に合うように、テレビ放送の信号、テレビ受像機などが作られています。ちなみに、日本、アメリカ合衆国などは、NTSCフォーマットを採用しており、ヨーロッパ、アジアの国々がPALフォーマットを採用しております。

両フォーマットの間に、互換性はありません。

例えば、NTSCフォーマットの信号をPALフォーマット対応のテレビ受像機に入力しても、うまく画像がでません。

メモ 工場出荷の設定に戻すには

(この操作は、ディスクが入っていない状態で行ってください。)

電源ON状態で本体のSTOP■ボタンを押しながら、POWER/STANDBYボタンを一度押し離し、STOP■ボタンを更に5秒以上押しつづけると工場出荷の設定(NTSC出力)に戻ります。表示窓のVideo CD、CD、DVDが点滅したあと、同時点灯すると完了です。このときはその他の情報(言語、字幕、LAST再生のメモリーなど)も工場出荷の設定に戻ります。45

言語一覧表

番号	言語名	番号	言語名	番号	言語名
6565	アフアル	7384	イタリア	8376	スロベニア
6566	アブハジア	7387	ヘブライ	8377	サモア
6570	アフリカーンス	7465	日本語	8378	ショナ
6577	アムハラ	7473	イディッシュ	8379	ソマリ
6582	アラビア	7487	ジャワ	8381	アルバニア
6583	アッサム	7565	グルジア	8382	セルビア
6588	アイマラ	7575	カザフ	8385	スンダ
6590	アゼルバイジャン	7576	グリーンランド	8386	スウェーデン
6665	バシキール	7577	カンボジア	8387	スワヒリ
6669	ベロルシア(白ロシア)	7578	カナダ	8465	タミル
6671	ブルガリア	7579	韓国(朝鮮)語	8469	テルグ
6672	ビハール	7583	カシミール	8471	タジク
6678	ベンガル(バングラ)	7585	クルド	8472	タイ
6679	チベット	7589	キルギス	8473	ティグリニア
6682	ブルターニュ	7665	ラテン	8475	トルクメン
6765	カタロニア	7678	リンガラ	8476	タガログ
6779	コルシカ	7679	ラオ	8479	トンガ
6783	チェコ	7684	リトアニア	8482	トルコ
6789	ウェールズ	7686	ラトビア(レット)	8484	タタール
6865	デンマーク	7771	マダガスカル	8487	トウイ
6869	ドイツ	7773	マオリ	8575	ウクライナ
6890	ブータン	7775	マケドニア	8582	ウルドゥー
6976	ギリシャ	7776	マラヤーラム	8590	ウズベク
6978	英語	7778	モンゴル	8673	ベトナム
6979	エスペラント	7779	モルダビア	8679	ヴェラビュック
6983	スペイン	7782	馬拉ッタ	8779	ウォロフ
6984	エストニア	7783	マライ(マレー)	8872	コーサ
6985	バスク	7784	マルタ	8979	ヨルバ
7065	ペルシャ	7789	ビルマ	9072	中国語
7073	フィンランド	7865	ナウル	9085	ズールー
7074	フィジー	7869	ネパール		
7079	フェロー	7876	オランダ		
7082	フランス	7879	ノルウェー		
7089	フリジア	7982	オーリヤ		
7165	アイルランド	8065	パンジャブ		
7168	(スコットランド)ゲール	8076	ポーランド		
7176	ガリチア	8083	バシュト		
7178	グアラニー	8084	ポルトガル		
7185	グジャラト	8185	ケチュア		
7265	ハウサ	8277	レトロマンズ		
7273	ヒンディー	8279	ルーマニア		
7282	クロアチア	8285	ロシア		
7285	ハンガリー	8365	サンスクリット		
7289	アルメニア	8368	シンド		
7365	インターリングア	8372	セルボクロアチア		
7378	インドネシア	8373	シンハラ		
7383	アイスランド	8375	スロバキア		

出力フォーマットを変更する

言語一覧表

ご参考

用語

■ドルビーデジタル (AC-3)

DVDに記録されている圧縮されたデジタル音声のことです。DVDには普通のステレオ音声をドルビーデジタルで記録したディスクや最大5チャンネルのサラウンド音声と低音専用チャンネルをドルビーデジタルで記録したディスクがあります。本機の光デジタル出力端子をドルビーデジタルデコーダーやデコーダー内蔵アンプの光デジタル入力端子に接続すると、サラウンド音声が楽しめます。

■LinearPCM (Pulse Code Modulation)

CDやDVDの圧縮されていないデジタル音声のことです。

■MPEGオーディオ

ドルビーデジタルとは別の圧縮方式により記録されたデジタル音声のことです。

■タイトル

DVDに記録されている映像や曲の一番大きな単位のことです。それぞれのタイトルに付けられた番号のことをタイトル番号といい、このタイトル番号が記録されているディスクでは、タイトル番号を選んで再生するタイトルサーチなどの操作ができます。

■チャプター

DVDに記録されている映像や曲のタイトルより小さい単位のことです。それぞれのチャプターに付けられた番号のことをチャプター番号といい、このチャプター番号が記録されているディスクでは、チャプター番号を選んで再生するチャプターサーチなどの操作ができます。

■トラック

CDやビデオCDに記録されている映像や曲のことです。それぞれのトラックに付けられた番号のことをトラック番号といい、このトラック番号が記録されているディスクでは、トラック番号を選んで再生するトラックサーチなどの操作ができます。

■ビデオCD

VHS並みの画質で動画再生が楽しめるディスクです。デジタル信号の圧縮技術 (MPEG1方式) により最大74分のデジタル画像と音声連続再生できます。ビデオCDにはメニュー画面で見たい場面を選んだり、静止画を再生できる* プレイバックコントロール (PBC)* 対応のディスクがあります。

■プレイバックコントロール (PBC)

ビデオCD (バージョン2.0) に記憶されている、再生をコントロールするための信号です。PBC付きビデオCDに記憶されているメニュー画面を使って簡単な対話形式のソフトや検索機能のあるソフトの再生が楽しめます。また、高精細/標準の静止画も楽しむことができます。

■高精細静止画

ビデオCDのなかに高精細な静止画が入っている場合は、動画の4倍の解像度で楽しむことができます。

■スクリーンセーバー

同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象がでることがあります。これを避けるため、スクリーンセーバーが用いられています。一定時間操作しないと自動的に画面を暗くするもののほか、常に動画を表示して、画面の一箇所に強い光線 (明るい色) が集中しないようにするものもあります。

■マルチアングル

通常のテレビ番組などはテレビカメラからの映像を見ているので、映像は撮影しているカメラの位置の視点でテレビ画面に表示されます。テレビスタジオなどでは数台のカメラで同時に撮影し、その中の1つを番組のディレクターが選んで電波にのせて各家庭のテレビに送っているわけですがすべてのカメラの画像が同時に送られて視聴者側で視点 (カメラ) を選べれば、見たいところが見られるわけです。DVDには同時に複数のカメラで撮影した画像が記録されているものがあり、プレーヤー側で視点を変えられるものがあります。これをマルチアングルといいます。

■アスペクト比

テレビ画面の横と縦の比率をいいます。通常のテレビでは、4:3ですが、ハイビジョンテレビやワイドテレビは16:9の比率となっています。横に広がった臨場感溢れる映像が楽しめるようになっています。

■パレンタルレベル

英語の綴りでは、PARENTALです。これは、PARENT (親、両親) からきています。これから解るように、親が子に見せたくない映像に制限がついているものです。

■字幕言語

映画などでおなじみの字幕言語です。DVDでは字幕の言語を最大32ヶ国分記録することができ、その中からお好みの言語を選んで楽しむことができます。

■リージョンコード

DVDプレーヤーとDVDディスクは発売地域ごとに再生可能地域番号 (リージョンコード) が設けられており、再生するディスクに記載されている再生可能地域番号にプレーヤーの再生可能地域番号が含まれていない場合は再生できません。本機の再生可能地域番号は2番です。

故障かな?と思ったら

電源プラグがはずれていたりすると故障と間違えることがあります。販売店に連絡する前に下記のことを一応お確かめください。また、プレーヤー以外の原因も考えられます。ご使用のテレビやステレオコンポーネント、および同時に使用している電気器具も合わせてお調べください。それでも具合が悪い場合はご自分で修理なさらず、お買い求めの販売店、または別紙「ご相談窓口一覧表」のご相談窓口にお問い合わせください。

このようなときは	考えられる原因	参照ページ
電源が入らない	●電源コードが正しく接続されていない。	14
映像がでない、映像が乱れる	●AVコードが正しく接続されていない。 ●ディスクに汚れ、傷がある。 ●本機はマクロビジョン方式のコピーガードに対応していません。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクを再生した場合、テレビによっては一部画像に横縞が入るなどの症状がでるものもありますが、故障ではありません。 ●本機をテレビに直接接続してください。また、本機からの映像をビデオデッキを通してテレビでご覧になると、コピーガードの動きにより画像が乱れることがあります。	14 10
音が出ない、雑音が多い	●AVコードが正しく接続されていない。 ●ディスクに汚れ、傷がある。 ●一時停止、またはスロー再生、または高速再生になっている。 ●光デジタル出力の設定が適切でない。	14 10 19 45
リモコンで操作できない	●リモコンと本体との距離が離れすぎている。 ●リモコン受信窓との角度があまりすぎる。 ●リモコンの乾電池が消耗している。 ●リモコン受信窓に直射日光など強い光が当たっている。	11
DVDの映像をVTRに録画すると再生映像が乱れる	●本機はマクロビジョン方式のコピーガードに対応していません。ディスクによってはコピー禁止信号が入っているものがあり、そのようなディスクをVTRに録画し、再生するとコピーガードシステムにより正常に再生されません。	
再生できない	●ディスクが正しくセットされていない。 ●ディスクに汚れ、傷がある。 ●本機で再生できないディスクを入れている。 ●本体の内部が結露している。 ●パレンタルロックがかかっている。 ●ディスクのリージョンコードが異なっている。	16 10 9 7 45 9
いろいろな再生ができない	●ディスクによって操作ができないものがあります。ディスクの取扱説明書もあわせてご覧ください。	
字幕言語を変更できない	●再生しているDVDに複数の字幕言語が記録されていない。	34
音声言語を変更できない	●再生しているDVDに複数の音声言語が記録されていない。	35
アングルを変更できない	●再生しているDVDに複数のアングルが記録されていない。	33
DVDを最初から再生できない	●停止、再生すると最初から再生しないディスクもあります。DISC MENUボタンやTITLEボタンで操作してください。	22 23
メニュー画面が英語で表示される	●OSD表示言語の設定が適切でない。	44
ビデオCDのメニュー画面が表示されない	●PBC対応でないビデオCDを再生している。 ●PBC対応のビデオCDで決められた操作をしていない。 ●PBCがオフになっている。	9 22

ご注意

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは、POWER/STANDBYボタンを押してください。POWER/STANDBYボタンを押して20秒程待ってもSTANDBY状態 (STANDBYインジケータが赤、表示窓が全消灯) にならないときは、電源コードを一度抜いて再度差し込んでください。正常に復帰します。

保証とアフターサービス(必ずご覧ください)

修理を依頼される時は(出張修理)

49ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書(別添)	補修用性能部品の最低保有期間	ご不明な点や修理に関するご相談は
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。 保証期間…お買い上げ日から1年です。	この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後8年です。 この期間は通商産業省の指導によるものです。 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。	修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または最寄りの「ご相談窓口」(別添)にお問い合わせください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	DVDプレーヤー
形名	DV-K2
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	


ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼される時に便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話 ()	年 月 日

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、製品本体と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

長年ご使用のDVDプレーヤーの点検をぜひ!

DVDプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

 愛情点検	このようなことはありませんか? <ul style="list-style-type: none"> ●電源コード、プラグが異常に熱くなる。 ●画像が乱れたり、きれいに映らない。 ●その他の異常や故障がある。 	▶	故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグを抜いて販売店にご連絡を……。点検・修理についての費用など詳しいことは販売店にご相談ください。
--	--	---	--

仕様

一般	形名 ……………DV-K2 使用レーザー ……………半導体レーザー：波長 650nm (DVD) ……………780nm (CD,VCD) 電源 ……………AC100V、50/60Hz共用 消費電力 ……………22W 質量 ……………4.1kg 外形寸法 ……………43.4(幅)×31.5(奥行)×9.8(高さ)cm 許容動作温度 ……………+5℃～+35℃ 許容動作湿度 ……………15～75% (結露のないこと)											
S映像出力端子<1系統>(S2出力)	Y出力レベル ……………1Vp-p (75Ω) C出力レベル ……………286mVp-p (75Ω) 出力端子 ……………S端子											
映像出力端子<1系統>	出力レベル ……………1Vp-p (75Ω負荷時、同期負) 出力端子 ……………ピンジャック											
音声出力端子<2系統>	デジタル音声出力レベル ……………200mVrms(1KHz、-20dB) チャンネル数 ……………2チャンネル デジタル音声特性 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>周波数特性</td> <td>CD : 4Hz~20KHz (EIAJ) DVD : 4Hz~22KHz (48K サンプリング) 4Hz~44KHz (96K サンプリング)</td> </tr> <tr> <td>SN比</td> <td>110dB</td> </tr> <tr> <td>ダイナミックレンジ</td> <td>100dB</td> </tr> <tr> <td>全高調波ひずみ率</td> <td>0.003%</td> </tr> <tr> <td>ワウ・フラッター</td> <td>測定限界(±0.001%W.PEAK)以下 (EIAJ)</td> </tr> </table>		周波数特性	CD : 4Hz~20KHz (EIAJ) DVD : 4Hz~22KHz (48K サンプリング) 4Hz~44KHz (96K サンプリング)	SN比	110dB	ダイナミックレンジ	100dB	全高調波ひずみ率	0.003%	ワウ・フラッター	測定限界(±0.001%W.PEAK)以下 (EIAJ)
周波数特性	CD : 4Hz~20KHz (EIAJ) DVD : 4Hz~22KHz (48K サンプリング) 4Hz~44KHz (96K サンプリング)											
SN比	110dB											
ダイナミックレンジ	100dB											
全高調波ひずみ率	0.003%											
ワウ・フラッター	測定限界(±0.001%W.PEAK)以下 (EIAJ)											
その他の端子	光デジタル出力 (Dolby Digital (AC-3)/LPCM、LPCM、オフ切替可) ……光コネクター											
付属品	リモコン (DV-RM2) ……………1個 単3形乾電池 ……………2個 AVコード ……………1本 電源コード ……………1本											

- 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。
- この機器を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.

ご注意

テレビ画面の焼きつき防止について

同じ静止画を長時間表示し続けると画面に焼きつき現象がでることがあります。本機はスクリーンセーバー機能を備えていますが、CD再生中はスクリーンセーバー機能が働きません。

テレビで続けて長時間CDを再生する場合は、本機の「背景」選択をオフにしてください。**45**

DVDやビデオCDのメニュー画面もスクリーンセーバー機能が働きません。メニュー画面を表示したまま長時間放置しないようにご注意ください。**22**

リセット機能について

ごくまれに基準に合致しないディスクを再生した場合など、本機が正常に動作しなくなることがあります。その場合はいったんSTOPボタンを押して停止させてください。正常に停止できないときはPOWER/STANDBYボタンを押してください。

POWER/STANDBYボタンを押して20秒ほど待っても状態が変わらないときは、本機の後面のRESETボタンを押してください。

RESETボタンを押すと、状態がリセットされ、STANDBY状態（STANDBYインジケータが赤、表示窓が全消灯）になります。

再度POWER/STANDBYボタンを押してご使用ください。

（電源コードを一度抜いて再度差し込んでも、リセットされてSTANDBY状態になります。）**49**

後面

